

平成24・25年度
医療経済研究機構
自主研究事業

平成24・25年度
医療経済研究機構自主研究事業

高齢者ケア施設における
個別ケアの充実に関する研究
報告書

平成27年3月

一般財団法人 医療経済研究・社会保険福祉協会



医療経済研究機構

沢村 香苗

調査研究体制

【調査研究担当】

○沢村 香苗	医療経済研究機構	研究部	主任研究員
中島 民恵子	医療経済研究機構	研究部	主任研究員

(○は主担当)

所属は2014年3月現在

研究要旨

1. 目的

高齢化に伴い、介護保険給付費や介護保険料は上昇し続けている。資源配分を最適化するために、高齢者の施設ケア整備の上でどのような優先順位付けをするべきなのだろうか。その一つの判断材料として、今回の研究では将来の介護保険受給者となる可能性があり、かつ介護保険の被保険者である一般住民が持っている高齢者長期ケア施設に対する態度に関する知見を得ることを目的とした。

2. 回答者

持ち家率と高齢化率、人口規模に配慮して代表的な8都市を選択し、50歳から65歳の男女300人ずつ(合計2,400人)を抽出して調査対象とした。対象者に調査票を郵送し、371名(15.5%)から回答を得た。

3. 調査方法

本研究ではコンジョイント分析を用い、回答者の高齢者長期ケア施設に対する選好を把握した。回答者は80歳になった彼らが認知症または骨折のために自立した日常生活が困難になったという想定例を読み、異なる条件をもった2つの施設から、自分の入所先として好ましいものを選ぶという設問に8つまたは9つ回答した。施設の属性を構成する要因は1.生活スケジュール・食事内容が選べるかどうか、2.ケア担当者が固定かどうか、3.部屋(風呂・トイレは含まない)が個室か多床室か、4.おもな交流の範囲、5.健康状態が悪化したら対処が必要かどうか、6.申し込んでから入所までの時間、7.現在の住まいからの距離、8.月当たりの費用(介護サービス、食費、居住費含む)であった。

4. 結果

回答者らが一貫してもっとも重視したのは、健康状態が悪化しても継続して住めるという点であった。特に家族を介護した経験のある回答者は、よりこの点を重視していた。

5. 結論

健康状態が悪化しても継続して住めることは、個室であることや、個別的な対応がなされることよりも一般住民に高く評価されていた。現在の特別養護老人ホームに対する高い需要は将来の住まいに関する不安によっても増強されており、継続して住めることに重点をおいた施設整備がなされない限りその需要が低下することはないだろう。個別的対応を行うことに重点をおいた施設整備をおこなうのであれば、これに関する普及啓発がより必要であると考えられる。

目次

研究要旨	1
1. 目的	1
2. 回答者	1
3. 調査方法	1
4. 結果	1
5. 結論	1
目次	2
第一章 調査研究の背景・目的	4
第二章 調査研究の方法	6
6. 調査期間	6
7. 対象者	6
8. 調査手法	6
9. 属性と水準	6
10. 調査計画	7
11. 調査票の構成	8
12. データ分析	8
13. 倫理的配慮	8
第三章 結果	10
1. 回収状況・回答者の属性	10
2. 住まいの状況や高齢者長期ケア施設に関する考え方	12
3. 高齢者長期ケア施設に対する選好	15
第四章 考察	19
1. 限界	20
資料編	22

第一章 調査研究の背景・目的

高齢者の生活を支えるためのサービスは person-centered、aging in place という理念に沿って考えられるのが国際的な潮流である。つまりできるだけ住み慣れた地域や住み慣れたところで、本人に合わせた支援を行うということが基本的なスタンスである。つまり従来行われてきた、施設に集めて一律に（効率を重視して）提供するサービスからの転換が図られている。

施設内におけるサービス提供においても person-centered は重要な理念であり、個を尊重したケア提供が目指されている。ユニットケアはそのためのツールの一つ¹であり、その構造をもたない施設においても、利用者を小さくグルーピングすることで個別的な対応を推進する試みが行われている²。実証は十分されていないが個々に合わせたサービスを提供するためにはより多くのコストがかかると一般的に考えられている。

日本においては、高齢者の増加に伴い、比較的一人当たりのコストの高い介護保険施設ケアよりは在宅におけるケアを整備したほうが公的な財源を節約できるという観点からも、施設サービスから在宅サービスへ（あるいは高齢者住宅におけるサービスへ）の転換が図られているところである。

その一方で、施設ケアのニーズは高まっている。内閣府や国土交通省による調査では、身体機能が低下した場合の住宅として自宅や病院を希望する割合は減少³しており、長期ケア施設（老人ホーム）への入居を希望する割合が増加している。また、特別養護老人ホームの待機者も増加している⁴。

長期ケアを必要とする高齢者の在宅復帰について様々な施策が打ち出されているが（たとえば、介護老人保健施設における在宅復帰機能の強化）、それによって全体の流れが在宅復帰に向かうというよりは、在宅復帰が可能な利用者と困難な利用者の弁別がはっきりと行われるようになってきている。在宅復帰の可能性は社会的な要因（介護者の有無や家族の意向）によって大きく影響されている^{5,6}。これは施設側の働きかけでは変化させることが難しい要因であり、一人暮らし高齢者の増加が顕著である⁷ことも考え合わせると、施設ケアのニーズが低下することは今後も期待できない。

よって高齢者長期ケア施設の今後の整備のあり方についての議論が引き続き必要と考えられる。私的な財源はもちろん、公的介護保険の財源も限られている。その限られた財源の中で施設ケアを整備する時、何を重視するのかについての検討が必要である。

日本における施設ケアの研究では、入居者に対するサービスに関する詳細な議論が多くみられる。サービスの質の向上のために重要な研究であるが、それらの結果を元に資源配分を決めると、必然的にコストは高くなり、結果として整備数が少なくなるため利用できる人が少なくなってしまう。現状は、介護保険施設を利用できない多くの人は、より人員配置等が薄く最期まではいられないようなサービスを

¹ ユニットケア型施設における入居者サービスの実施把握及びあり方に関する調査研究（医療経済研究機構、平成 20 年）

² グループケア型施設の運営および施設サービスのあり方に関する調査研究（医療経済研究機構、平成 21 年）

³ 高齢者の健康に関する意識調査（内閣府、平成 8 年・平成 14 年・平成 19 年・平成 24 年）

⁴ 厚生労働省老健局高齢者支援課調べ（平成 26 年 3 月）

⁵ 介護老人保健施設の在宅復帰支援に関する調査研究事業（医療経済研究機構、平成 25 年）

⁶ 特別養護老人ホームにおける在宅復帰支援等の実態に関する調査研究事業（医療経済研究機構、平成 24 年）

⁷ 平成 26 年版高齢社会白書（内閣府）

より高い価格で購入せざるを得ない。これは、強制加入の介護保険の資源配分として適切な姿なのか疑問である。

資源配分を検討するにあたっては、施設内で提供されるサービスの内容だけでなく、最期までいられるか、待機期間はどの程度か、費用負担はどうか、といった、利用可能性まで含めることが必要なのではないか。また、それぞれの要件が住民（被保険者）にとってどの程度の重要度をもっているかを知る必要があるのではないか。というのがこの研究の出発点である。そして、今後の方向性について知るために一般住民を対象とした。

第二章 調査研究の方法

6. 調査期間

平成 26 (2014) 年 1 月 20 日から 2 月 5 日

7. 対象者

50 歳以上 65 歳以下の一般住民 2,400 名 (男性 1,200 名、女性 1,200 名) を対象とした。高齢化率と、住環境の指標として持ち家率、また人口規模を考慮して、できるだけ偏りのないように 8 つの都市 (3 つの政令指定都市を含む) を抽出した。住民基本台帳を閲覧して各都市から男女各 150 名をランダムに抽出し、調査票を送付し協力を依頼した。

8. 調査手法

今回は住民の高齢者長期ケア施設に対する選好を把握するため、表明選好法の 1 つであるコンジョイント分析を用いた。選好を定量的に把握する手法には表明選考法と顕示選好法がある。顕示選好法は実際の行動 (購買行動のデータや、行動に関する振り返りの質問法から得られたデータなど) に基づいて、対象の選好を把握するものである。この方法の限界としては、実際に存在する選択肢 (商品など) に対する選好のみ把握可能であることや、市場においてはしばしば要因間の相関が高い (値段と質など) ため、それらの影響を分離して検討することが難しいことなどが挙げられる。表明選好法は、調査者の検討したい要因 (属性) によって構成される「プロファイル」への選好を訪ねることにより、それらの属性がどのように選好に影響しているかを検討することができる。そのため、医療サービスの研究においても多く使われている手法である。

今回の調査は、現状の高齢者長期ケア施設に対する選好よりは、将来的にどのようなサービスが望ましいと住民が考えるかを知りたいというものだったため、表明選好法を用いた。ただしこの方法によって得られた選好は、あくまで想定されたプロファイルに対するものであり、プロファイルに含まれる属性を変更すれば選好も大きく変わる可能性が否定できない。また、表明された選好と実際の行動は必ずしもリンクしないことが指摘されている。一つの表明選好法による結果の一般化可能性は高くなく、複数の研究、また顕示選好法による研究の結果と総合した議論が必要であることに注意が必要である。

9. 属性と水準

コンジョイント分析では、いくつかの属性とその水準を設定し、それらの組み合わせで構成されるプロファイルを対象者に提示する。本研究における属性の数は、人間が同時に処理できる情報としてよく使われる数字の 7 ± 2 を参考とし、8 つとした。高齢者長期ケア施設の属性及び各属性について設定した水準は図表 1 の通りである。なお、費用以外の水準は「望ましさ」が上がる順と想定した。また、費用以外の水準 1 と水準 2 は現実的な条件、水準 3 は現時点では「理想的な」条件とした。

図表 1 本研究で用いた高齢者長期ケア施設の属性と水準

属性	水準 1	水準 2	水準 3
1.生活スケジュール・食事内容	他の入所者と全て一緒である	一部自分で決められる	全て自分で決められる
2.ケア担当者	決まっていない	決まっている	

3.部屋（風呂・トイレは含まない）	複数人部屋（2～4人） 部屋（1人あたりの面積は6畳程度）	個室（6畳程度）	
4.おもな交流の範囲	ひとりで過ごす	同じ施設の入居者やスタッフと交流する	友人や親族をよんで交流する
5.健康状態が悪化したら	退居しなければならない	続けて住むことができる	
6.申し込んでから入所まで	1年以上	1年未満	すぐに入れる
7.現在の住まいからの距離	車で40分程度	車で20分程度	徒歩で行ける範囲
8.月当たりの費用（介護サービス、食費、居住費含む）	10万円	25万円	40万円

属性1と属性4は施設ケアの個別性を反映するために含めた^{8,9}。属性2については、介護報酬上の要件とはなっていないが、ユニットケア推進センター等により強く推奨されており、人件費を引き上げる要因としても指摘されているためデザインに含めた。属性3についてははしばしば個室の必要性が議論の対象となり、入所者（およびその家族）のニーズも曖昧である¹⁰ため含めた。属性5については、従来想定されてきた機能別の施設類型が崩れつつある現状や、医療的なニーズの高い高齢者ほど移動を繰り返さなければならないという先行研究の結果¹¹を踏まえて含めた。属性6については、特に特別養護老人ホームの待機者の多さや待機期間の長さはしばしば社会問題として取り上げられており、費用と並んで高齢者長期ケア施設を選択する際の大きな決定要因であると考えたため、デザインに含めた。属性7については、現在、都心のように高齢者ケア施設への入居が困難な地域の住民が、郊外の地域の施設に入所することが問題となっていること、地域包括ケアにおける「住み慣れた地域で」という理念に、住民はどの程度重きをおくのかということ踏まえて含めた。距離は生活圏を参考として設定した¹²。属性8については、今回の研究の目的からすると、対象者に理想的な選択をするよりは制約条件を考慮した選択をさせたかったため、デザインに含めた。水準1（10万円）は介護保険施設の自己負担分を参考とし、水準2（25万円）および水準3（40万円）は有料老人ホームの料金（家賃、管理費、食費、在宅介護サービスの自己負担分）を参考とした¹³。

10. 調査計画

これらの8属性、21水準をすべて組み合わせると、1,944通りの仮想的な高齢者長期ケア施設が構築される。そのすべてを用いて調査を行うことは不可能であるため、直行配列法¹⁴を用いて26の高齢者長期

⁸ ユニットケア型施設における入居者サービスの実施把握及びあり方に関する調査研究（医療経済研究機構、平成20年）

⁹ グループケア型施設の運営および施設サービスのあり方に関する調査研究（医療経済研究機構、平成21年）

¹⁰ 特別養護老人ホームにおける待機者の実態に関する調査研究事業～待機者のニーズと入所決定のあり方等に関する研究～（医療経済研究機構、平成23年）

¹¹ Nakanishi M, Hattori K, Nakashima T, et al. Health care and personal care needs among residents in nursing homes, group homes, and congregate housing in Japan: why does transition occur, and where can the frail elderly establish a permanent residence? J Am Med Dir Assoc, 2013; 15: 76 e1-6.

¹² 国土交通省 HP (<http://www.mlit.go.jp/road/sign/timei/6-2.html>)

¹³ 有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅に関する実態調査研究（全国有料老人ホーム協会、平成25年）

¹⁴ The orthoplan package of SPSS version 22.

ケア施設を選定し、そのうち1つの施設とその他の25とを比較する二者択一形式の質問を作成した。対象者1名に25の設問数では回答率や回答の正確性が低下する可能性があることを考慮し、25問をランダムに8問、9問、9問の3グループに分割し、3つの調査票を作成した。また、その中で使用した想定例は認知症と骨折例の2種類だったため、調査票の種類は全部で6種類であった。各対象地域の300人の対象者に6種類の調査票を均等に郵送し、回答を依頼した。

11. 調査票の構成

調査票は巻末資料に提示する。まず、認知症または骨折によって自立した日常生活がやや困難になり、施設入所を考えているという仮想例（図表2、図表3）を提示し、その場合、2つの仮想的な高齢者長期ケア施設のプロフィールを提示し、どちらかを選択させた。この設問が対象者1人につき8問ないし9問続いた。

図表2 仮想例（認知症）

あなたは80歳で、食事や整容（洗面、整髪、髭剃り、歯磨きなど）、トイレの使用、着替え、歩行の介助は必要ありません。排せつのコントロールが完全でなく、時折失禁することがあります。**認知症の症状がみられ、薬の服用や戸締り、火の始末などについて自分で管理できなくなりつつあります。**また入浴や外出に介助が必要になりました。ご家族はそれぞれお仕事や体調の都合であなたを十分にケアすることが難しい状況です。

図表3 仮想例（骨折）

あなたは80歳で、食事や整容（洗面、整髪、髭剃り、歯磨きなど）、トイレの使用、着替えの介助は必要ありません。排せつのコントロールが完全でなく、時折失禁することがあります。**骨折を機に歩行が困難になり、車いすを使用しています。**また入浴や外出に介助が必要になりました。ご家族はそれぞれお仕事や体調の都合であなたを十分にケアすることが難しい状況です。

調査票には、対象者の属性などを尋ねる共通の設問があった。共通の設問は、年齢、性別、同居家族、最終学歴、おおよその世帯収入、住居の状況、現在の住まいと出身地の距離、家族介護の経験、現在の健康状態、自分が将来介護サービスの利用者になる可能性、高齢になった際、今の住まいに住み続けるにあたり心配な点、高齢者長期ケア施設入所の際に許容できる1カ月の利用料の上限、自分で施設を選ぶとしたら何を重視するか、を問うものであった。

12. データ分析

分析にはStata SE version 13を使用し、条件付きロジットモデルによって1) 想定例の診断別（認知症、骨折）、2) 想定例の診断と介護経験の有無別、3) 想定例の診断と世帯年収（450万円以上と450万円未満¹⁵）の3つの分析を行った。

13. 倫理的配慮

調査への回答は義務ではなく、回答しなくても対象者に不利益は生じないことを調査票の表紙に明記

¹⁵国民生活基礎調査（平成19年から平成23年）

した。調査票を返送したことをもって調査への同意としたため、対象者の同意書は取得しなかった。調査票の発送のために取得した個人情報は、発送後すぐに廃棄・消去し、返送される調査票は無記名のため個人を特定することは不可能であった。調査実施にあたっては医療経済研究機構倫理審査委員会の承諾を得た。

第三章 結果

1. 回収状況・回答者の属性

371名から回答が得られた（回答率15.4%）。地域ごとの回答率は7.7%から19.3%までばらつきがあった。57.7%が女性で、平均年齢は58.3歳（SD=4.4）であった。回答者の属性は図表4・図表5に示すとおりであった。想定例の診断ごとのグループ間には有意な差がみられなかった。介護経験のある人と介護経験のない人では、介護経験のある人のほうが年齢が高く、女性が多く、持ち家である割合が高く、世帯年収が高かった。また、将来介護サービスの利用者になる可能性が高いと回答する割合が高かった。世帯年収が低い人と高い人の比較では、世帯年収の低い人の方が年齢が高く、子供や配偶者と同居している割合が低く、一人暮らしである割合が高く、最終学歴が低く、健康状態が悪く、持ち家である割合が低かった。

図表4 回答者の基本属性

	認知症 (N=196)		骨折 (N=175)	
	N または平均	% または SD	N または平均	% または SD
年齢	58.2	4.4	58.4	4.3
性別（女性）	112	57.1%	102	58.3%
同居家族				
配偶者（パートナー）	153	78.1%	138	78.9%
子供	95	48.5%	84	48.0%
一人暮らし	19	9.7%	15	8.6%
それ以外	48	24.5%	31	17.7%
最終学歴				
中学校卒	11	5.6%	18	10.3%
高校卒	92	46.9%	78	44.6%
短大・専門学校卒	51	26.0%	35	20.0%
大学以上	40	20.4%	39	22.3%
家族介護の経験				
あり	95	48.5%	91	52.0%
なし	99	50.5%	79	45.1%
現在の健康状態（複数回答可）				
良好	135	68.9%	119	68.0%
治療中	57	29.1%	53	30.3%
介護を受けている	2	1.0%	1	0.6%
住居の状況				
持ち家	169	86.2%	143	81.7%
賃貸	21	10.7%	23	13.1%
それ以外	4	2.0%	4	2.3%
世帯収入				
450万円未満	104	53.1%	89	50.9%
450万円以上	83	42.3%	78	44.6%
将来介護サービスの利用者になる可能性				
高い	75	38.3%	69	39.4%
どちらともいえない	104	53.1%	88	50.3%
低い	14	7.1%	12	6.9%

p* $<$ 0.05, p** $<$ 0.01

図表 5 介護経験の有無・世帯年収別の回答者の基本属性

	介護経験あり (N=186)		介護経験なし (N=178)		収入低 (N=193)		収入高 (N=161)		*
	N または 平均	ま または SD	N または 平均	ま または SD	N または 平均	ま または SD	N または 平均	ま または SD	
年齢	58.8	4.2	57.7	4.5	59.6	4.2	56.7	4.1	*
性別（女性）	129	69.4%	85	47.8%	121	62.7%			*
同居家族									*
配偶者（パートナー）	145	78.0%	146	82.0%	138	71.5%	145	90.1%	*
子供	84	45.2%	95	53.4%	75	38.9%	100	62.1%	*
一人暮らし	20	10.8%	14	7.9%	28	14.5%	15.2	9.4%	*
それ以外	38	20.4%	41	23.0%	36	18.7%	41	25.5%	*
最終学歴									*
中学校卒	19	10.2%	10	5.6%	26	13.5%	3	1.9%	
高校卒	88	47.3%	82	46.1%	104	53.9%	59	36.6%	
短大・専門学校卒	40	21.5%	46	25.8%	39	20.2%	46	28.6%	
大学以上	39	21.0%	40	22.5%	24	12.4%	53	32.9%	
家族介護の経験									
あり					109	56.5%	73	45.3%	
なし					84	43.5%	88	54.7%	
現在の健康状態（複数回答可）									*
良好	126	67.7%	128	71.9%	122	63.2%	123	76.4%	*
治療中	60	32.3%	50	28.1%	70	36.3%	39	24.2%	*
介護を受けている	3	1.6%	0	0.0%	3	1.6%	0	0.0%	*
住居の状況									*
持ち家	169	90.9%	143	80.3%	160	82.9%	144	89.4%	
賃貸	15	8.1%	29	16.3%	29	15.0%	13	8.1%	
それ以外	2	1.1%	6	3.4%	4	2.1%	4	2.5%	
世帯収入									*
450万円未満	109	58.6%	84	47.2%					
450万円以上	73	39.2%	88	49.4%					
将来介護サービスの利用者になる可能性									*
高い	87	46.8%	57	32.0%	73	37.8%	69	42.9%	
どちらともいえない	85	45.7%	107	60.1%	99	51.3%	86	53.4%	
低い	12	6.5%	14	7.9%	19	9.8%	6	3.7%	

p* $<$ 0.05, p** $<$ 0.01

2. 住まいの状況や高齢者長期ケア施設に関する考え方

基本属性以外に、住まいに関する回答者の考え方を尋ねた。以下図表 6、図表 7、図表 8 がその結果である。想定例による回答の違いは見られなかった。出身地の近くに住んでいる人が最も多く、次いで今も出身地に住んでいる人が多かった。高齢になった際に、今の住まいに住み続けるとして心配な点は、家や庭などの維持管理、バリアフリーでない、除雪作業、といった、家そのものの管理や構造に関するものが多かった。大して介護サービスの少なさについてはほとんどの人が心配していなかった。高齢者長期ケア施設の利用料として許容できる上限額は、10 万円以内で全体の 7 割程度を占め、現状で施設ケアを利用する際にかかる金額としては相当低い方にあたる。また、自分で高齢者長期ケア施設を選ぶとした時に重視する点は、職員の感じがよい、料金が安い、最期までいられる、といった点が 7 割以上の回答者に重視されていた。

図表 6 住まいに関する設問への回答 (想定例別)

	認知症 (N=196)		骨折 (N=175)	
	N または 平均	% または SD	N または 平均	% または SD
現在の住まいと出身地の距離				
遠い	49	25.0%	46	26.3%
近い	82	41.8%	68	38.9%
今も住んでいる	61	31.1%	55	31.4%
高齢になった際、今の住まいに住み続けるにあたり心配な点				
家や庭などの維持管理	88	44.9%	78	44.6%
バリアフリーでない	84	42.9%	80	45.7%
除雪作業	60	30.6%	59	33.7%
特にない	43	21.9%	27	15.4%
生活必需品の入手が難しい	37	18.9%	36	20.6%
病院が遠い	31	15.8%	36	20.6%
家賃や管理費などの支払い	20	10.2%	21	12.0%
介護サービスが少ない	16	8.2%	16	9.1%
許容できる 1 か月の利用料の上限¹				
5 万円程度	58	29.7%	46	26.3%
10 万円程度	90	45.9%	71	40.6%
15 万円程度	26	13.3%	27	15.4%
20 万円程度	9	4.6%	10	5.7%
25 万円程度	0	0.0%	6	3.4%
30 万円程度	0	0.0%	0	0.0%
30 万円以上	0	0.0%	0	0.0%
わからない	12	6.1%	10	5.7%
自分で高齢者長期ケア施設を選ぶとしたら、特に重視すること				
職員が親切で感じがよい	160	81.6%	133	76.0%
料金が安い	144	73.5%	129	73.7%
最期までいられる	141	71.9%	120	68.6%
認知症の症状に対応してもらえる	108	55.1%	93	53.1%
食事がおいしい	108	55.1%	109	62.3%
いつも見守っていてくれる	84	42.9%	80	45.7%
自宅から近く、親族や知人が面会に来やすい	79	40.3%	65	37.1%
話し相手がいる	69	35.2%	75	42.9%
部屋が広い	28	14.3%	28	16.0%

p* < 0.05, p** < 0.01

1: 介護保険サービスに係る費用、居住費、食費を含む)

介護経験の有無による回答傾向にはいくつか有意差がみられた。まず、介護経験のある人は出身地の遠くに住んでいる割合が低かった。高齢になった際に、今の住まいに住み続けるとして、介護経験のある人のほうが家や庭の維持管理、バリアフリーでないこと、除雪作業について心配であると回答した割合が高かった。利用料については差がなく、自分が高齢者ケア施設を選ぶ際に重視することについても、介護経験がある人の方が、職員の感じのよさ、最期までいられることを選択していた。

図表 7 住まいに関する設問への回答（介護経験有無別）

	介護経験あり (N=186)		介護経験なし (N=178)		
	N または平均	%またはSD	N または平均	%またはSD	
現在の住まいと出身地の距離					*
遠い	41	22.0%	54	30.3%	
近い	72	38.7%	78	43.8%	
今も住んでいる	71	38.2%	45	25.3%	
高齢になった際、今の住まいに住み続けるにあたり心配な点					
家や庭などの維持管理	100	53.8%	66	37.1%	**
バリアフリーでない	95	51.1%	69	38.8%	*
除雪作業	74	39.8%	45	25.3%	**
病院が遠い	41	22.0%	26	14.6%	
特になし	39	21.0%	31	17.4%	
生活必需品の入手が難しい	40	21.5%	33	18.5%	
介護サービスが少ない	17	9.1%	15	8.4%	
家賃や管理費などの支払い	16	8.6%	25	14.0%	
許容できる1か月の利用料の上限¹					
5万円程度	53	28.5%	51	28.7%	
10万円程度	88	47.3%	72	40.4%	
15万円程度	24	12.9%	28	15.7%	
20万円程度	12	6.5%	7	3.9%	
25万円程度	3	1.6%	3	1.7%	
30万円程度	0	0.0%	0	0.0%	
30万円以上	0	0.0%	0	0.0%	
わからない	6	3.2%	16	9.0%	
自分で高齢者長期ケア施設を選ぶとしたら、特に重視すること					
職員が親切で感じがよい	157	84.4%	135	75.8%	*
最期までいられる	145	78.0%	114	64.0%	**
料金が安い	141	75.8%	130	73.0%	
認知症の症状に対応してもらえる	110	59.1%	90	50.6%	
食事がおいしい	106	57.0%	110	61.8%	
いつも見守っていてくれる	85	45.7%	78	43.8%	
話し相手がいる	78	41.9%	66	37.1%	
自宅から近く、親族や知人が面会に来やすい	76	40.9%	67	37.6%	
部屋が広い	34	18.3%	21	11.8%	

p* $<$ 0.05, p** $<$ 0.01

1:介護保険サービスに係る費用、居住費、食費を含む

世帯収入の高低による回答傾向にはいくつか有意差がみられた。まず、世帯収入の低い人は、高齢になった際に家賃や管理費などの支払いが心配であると回答した割合が高かった。また、利用料上限についても世帯収入の低い人は5万円程度とした割合が高く、世帯収入の高い人は15万円以上も可とした割合が高かった。自分が高齢者ケア施設を選ぶ際に重視することについては、見守りを重視する割合が世帯収入の高い人で高かった。

図表 8 住まいに関する設問への回答（世帯収入の高低〔450 万円以上、450 万円未満〕別）

	収入低 (N=193)		収入高 (N=161)		
	N または平均	% または SD	N または平均	% または SD	
現在の住まいと出身地の距離					
遠い	46	23.8%	47	29.2%	
近い	83	43.0%	62	38.5%	
今も住んでいる	62	32.1%	51	31.7%	
高齢になった際、今の住まいに住み続けるにあたり心配な点					
家や庭などの維持管理	76	39.4%	88	54.7%	
バリアフリーでない	86	44.6%	75	46.6%	
除雪作業	67	34.7%	50	31.1%	
病院が遠い	25	13.0%	41	25.5%	
特にない	33	17.1%	34	21.1%	
生活必需品の入手が難しい	42	21.8%	30	18.6%	
介護サービスが少ない	14	7.3%	17	10.6%	
家賃や管理費などの支払い	30	15.5%	10	6.2%	**
許容できる 1 か月の利用料の上限¹					
5 万円程度	75	38.9%	27	16.8%	**
10 万円程度	81	42.0%	77	47.8%	
15 万円程度	22	11.4%	30	18.6%	
20 万円程度	3	1.6%	16	9.9%	
25 万円程度	0	0.0%	5	3.1%	
30 万円程度	0	0.0%	0	0.0%	
30 万円以上	0	0.0%	0	0.0%	
わからない	11	5.7%	6	3.7%	
自分で高齢者長期ケア施設を選ぶとしたら、特に重視すること					
料金が安い	154	79.8%	110	68.3%	
職員が親切で感じがよい	153	79.3%	131	81.4%	
最期までいられる	138	71.5%	116	72.0%	
食事がおいしい	119	61.7%	93	57.8%	
認知症の症状に対応してもらえる	97	50.3%	96	59.6%	
話し相手がいる	80	41.5%	60	37.3%	
自宅から近く、親族や知人が面会に来やすい	80	41.5%	61	37.9%	
いつも見守っていてくれる	79	40.9%	78	48.4%	*
部屋が広い	25	13.0%	29	18.0%	

p* < 0.05, p** < 0.01

1: 介護保険サービスに係る費用、居住費、食費を含む

3. 高齢者長期ケア施設に対する選好

調査計画で記述した通り、全ての設問はある共通のプロファイルとその他のプロファイルの比較であった。そのため結果は共通のプロファイルの水準（生活スケジュール・食事内容が一部自分で決められる、ケア担当者が決まっている、多床室である、主に同じ施設の入居者やスタッフと交流する、健康状態が悪化したら退去しなければならない、申し込んでから入居まで1年以上かかる、現在の住まいからの距離は車で40分程度、月あたりの費用は25万円）から、比較対象となったプロファイルの水準への変化に対する対象者の評価として表現される。ランダムパラメータロジットモデル、ランダムエフェクトプロビットモデルと適合度（対数尤度およびAIC）を比較した上で、条件付きロジットモデルを採用した。その結果は図表9から図表11に示すとおりであった。

仮想例で用いた診断名による選好の比較の結果（図表9）、回答者は共通して健康状態が悪化しても続けて住むことができることを最も高く評価した。現在の住まいからの近さも共通してポジティブに評価された。認知症を想定した回答者は個室とすぐに入所できることを重視し、骨折を想定した回答者はこれらの点については有意な選好を示さなかった。骨折を想定した回答者は生活スケジュールや食事内容が他の入所者と全て一緒であることをネガティブに評価し、友人や親族をよんで交流することをポジティブに評価した。認知症を想定した回答者はこれらの点について有意な選好を示さなかった。

図表9 仮想例で用いた診断名による選好の比較

属性および水準	係数値	SE	MWTP ¹
生活スケジュール・食事内容（他の入所者と全て一緒） x 認知症	-0.44	0.24	
生活スケジュール・食事内容（他の入所者と全て一緒） x 骨折	-0.63 *	0.30	-4.0
生活スケジュール・食事内容（全て自分で決められる） x 認知症	0.18	0.23	
生活スケジュール・食事内容（全て自分で決められる） x 骨折	-0.36	0.27	
ケア担当者（決まっていない） x 認知症	-0.25	0.20	
ケア担当者（決まっていない） x 骨折	-0.44	0.25	
個室 x 認知症	0.87 **	0.24	5.5
個室 x 骨折	0.40	0.26	
主な交流の範囲（ひとりで過ごす） x 認知症	-0.39	0.24	
主な交流の範囲（ひとりで過ごす） x 骨折	-0.58	0.30	
主な交流の範囲（友人や親族をよんで交流する） x 認知症	0.21	0.26	
主な交流の範囲（友人や親族をよんで交流する） x 骨折	0.64 *	0.31	4.0
健康状態が悪化したら（続けて住むことができる） x 認知症	1.67 **	0.23	10.5
健康状態が悪化したら（続けて住むことができる） x 骨折	1.36 **	0.27	8.5
申し込んでから入所まで（1年未満） x 認知症	0.13	0.20	
申し込んでから入所まで（1年未満） x 骨折	0.13	0.23	
申し込んでから入所まで（すぐに入れる） 認知症	0.79 **	0.22	5.0
申し込んでから入所まで（すぐに入れる） 骨折	0.40	0.25	
現在の住まいからの距離（車で20分程度） x 認知症	0.98 **	0.22	6.1
現在の住まいからの距離（車で20分程度） x 骨折	0.46 *	0.23	2.9
現在の住まいからの距離（徒歩で行ける範囲） x 認知症	0.53 *	0.21	3.3
現在の住まいからの距離（徒歩で行ける範囲） x 骨折	0.67 **	0.24	4.2
月あたりの費用 ¹	-0.16 **	0.01	

Log likelihood	-637.8
pseudo R ²	0.53
LR chi ² (df=12)	1425.7
標本数	2,977

p* < 0.05, p** < 0.01

1: 単位=1万円

介護経験の有無による選好の比較の結果（図表 10）、回答者は共通して健康状態が悪化しても続けて住むことができることを最も高く評価した。介護経験のある回答者は、介護経験のない回答者よりも、この点についてより高く評価した。認知症を想定した回答者は、介護経験の有無にかかわらずすぐに入所できることをポジティブに評価した。認知症を想定した回答者のうち、介護経験をもつ人は生活スケジュールや食事内容が他の入所者と全て一緒であることや主にひとりで過ごすことをネガティブに評価した。認知症を想定した回答者のうち、介護経験のない人は個室であることをポジティブに評価した。骨折を想定した回答者のうち、介護経験のある人は主にひとりで過ごすことをネガティブに評価した。

図表 10 介護経験の有無による選好の比較

属性および水準 ¹	認知症			骨折		
	係数値	SE	MWTP ¹	係数値	SE	MWTP ¹
生活スケジュール・食事内容（他の入所者と全て一緒） x 介護経験あり	-0.76*	0.35	-5.4	-0.70	0.48	
生活スケジュール・食事内容（他の入所者と全て一緒） x 介護経験なし	-0.07	0.30		-0.88	0.49	
生活スケジュール・食事内容（全て自分で決められる） x 介護経験あり	0.02	0.33		-0.6	0.43	
生活スケジュール・食事内容（全て自分で決められる） x 介護経験なし	0.29	0.28		-0.39	0.45	
ケア担当者（決まっていない） x 介護経験あり	-0.44	0.30		-0.79	0.41	
ケア担当者（決まっていない） x 介護経験なし	-0.01	0.25		-0.66	0.41	
個室 x 介護経験あり	0.44	0.32		0.83	0.43	
個室 x 介護経験なし	0.95**	0.3	6.7	0.41	0.42	
主な交流の範囲（ひとりで過ごす） x 介護経験あり	-0.81*	0.35	-5.8	-1.01*	0.5	-5.2
主な交流の範囲（ひとりで過ごす） x 介護経験なし	-0.07	0.3		-0.71	0.5	
主な交流の範囲（友人や親族をよんで交流する） x 介護経験あり	0.17	0.36		0.39	0.52	
主な交流の範囲（友人や親族をよんで交流する） x 介護経験なし	0.24	0.34		0.87	0.52	
健康状態が悪化したら（続けて住むことができる） x 介護経験あり	1.65**	0.31	11.7	1.92**	0.47	10.0
健康状態が悪化したら（続けて住むことができる） x 介護経験なし	1.38**	0.29	9.8	1.56**	0.44	8.1
申し込んでから入所まで（1年未満） x 介護経験あり	0.2	0.28		0.22	0.36	
申し込んでから入所まで（1年未満） x 介護経験なし	0.12	0.26		-0.18	0.37	
申し込んでから入所まで（すぐに入れる） 介護経験あり	0.61*	0.31	4.3	0.66	0.39	
申し込んでから入所まで（すぐに入れる） 介護経験なし	0.77**	0.28	5.5	0.17	0.42	
現在の住まいからの距離（車で20分程度） x 介護経験あり	0.81**	0.3	5.7	0.41	0.37	
現在の住まいからの距離（車で20分程度） x 介護経験なし	0.95**	0.28	6.7	0.57	0.39	
現在の住まいからの距離（徒歩で行ける範囲） x 介護経験あり	0.46	0.29		0.99*	0.40	5.1
現在の住まいからの距離（徒歩で行ける範囲） x 介護経験なし	0.44	0.28		0.89*	0.41	4.6
月あたりの費用 ¹	-0.14**	0.01		-0.19**	0.01	
Log likelihood	-375.5			-248.4		
pseudo R ²	0.47			0.61		

LR chi ² (df=12)	666.3	787
標本数	1,577	1,400

p* <0.05 , p** <0.01

1: 単位=1万円

世帯年収による選好の比較の結果（図表 11）、認知症を想定した回答者の選好は収入によってそれほど異ならなかった。回答者は個室であること、健康状態が悪化しても続けて住むことができること、すぐに入所できること、現在の住まいから近いことをポジティブに評価した。収入の高い人は低い人よりも個室に対する評価が高かった。骨折を想定した回答者のうち、収入の高い人は一人で過ごすこと、ケア担当者が決まっていないこと、生活スケジュールや食事内容が他の入所者と全て一緒であることをネガティブに評価した。骨折を想定した回答者のうち、収入の低い人は現在の住まいからの距離が近いことをポジティブに評価した。健康状態が悪化しても続けて住むことができることの評価に収入が与える影響は想定した診断によって異なっていた。

図表 11 収入による選好の比較

属性および水準 ¹	認知症			骨折		
	係数値	SE	MWTP ¹	係数値	SE	MWTP ¹
生活スケジュール・食事内容（他の入所者と全て一緒） x 収入低	-0.4	0.33		-0.41	0.46	
生活スケジュール・食事内容（他の入所者と全て一緒） x 収入高	-0.49	0.32		-1.36*	0.55	-7.0
生活スケジュール・食事内容（全て自分で決められる） x 収入低	0.21	0.32		-0.31	0.43	
生活スケジュール・食事内容（全て自分で決められる） x 収入高	0.12	0.3		-0.81	0.47	
ケア担当者（決まっていない） x 収入低	-0.06	0.27		-0.59	0.4	
ケア担当者（決まっていない） x 収入高	-0.22	0.27		-1.21**	0.45	-6.2
個室 x 収入低	0.60*	0.3	4.3	0.72	0.42	
個室 x 収入高	0.95**	0.33	6.8	0.46	0.48	
主な交流の範囲（ひとりで過ごす） x 収入低	-0.36	0.31		-0.78	0.49	
主な交流の範囲（ひとりで過ごす） x 収入高	-0.31	0.33		-1.43*	0.57	-7.3
主な交流の範囲（友人や親族をよんで交流する） x 収入低	0.14	0.34		0.51	0.51	
主な交流の範囲（友人や親族をよんで交流する） x 収入高	0.22	0.36		0.28	0.58	
健康状態が悪化したら（続けて住むことができる） x 収入低	1.68**	0.3	12	1.64**	0.48	8.4
健康状態が悪化したら（続けて住むことができる） x 収入高	1.40**	0.3	10.1	2.05**	0.49	10.5
申し込んでから入所まで（1年未満） x 収入低	0.19	0.28		-0.11	0.36	
申し込んでから入所まで（1年未満） x 収入高	0.19	0.27		0.14	0.38	
申し込んでから入所まで（すぐに入れる） 収入低	0.71*	0.29	5.1	0.26	0.4	
申し込んでから入所まで（すぐに入れる） 収入高	0.77**	0.3	5.6	0.51	0.42	
現在の住まいからの距離（車で20分程度） x 収入低	0.78**	0.28	5.6	0.61	0.38	
現在の住まいからの距離（車で20分程度） x 収入高	0.94**	0.31	6.8	0.29	0.41	
現在の住まいからの距離（徒歩で行ける範囲） x 収入低	0.44	0.27		1.12**	0.39	5.7

現在の住まいからの距離（徒歩で行ける範囲） x 収入高	0.35	0.3	0.71	0.46
月あたりの費用 ¹	-0.14**	0.01	-0.19**	0.01
Log likelihood	-380.12		-245.74	
pseudo R ²	0.46		0.62	
LR chi ² (df=12)	657.11		792.41	
標本数	1,577		1,400	

p* < 0.05, p** < 0.01

1: 単位 = 1 万円

第四章 考察

本研究では、今後の高齢者長期ケア施設の整備にあたり、重視する点について1)生活スケジュール・食事内容の選択の可能性、2)日中のおもな交流の範囲、3)個室か多床室か、4)ケア担当者が決まっているかどうか、5)健康状態が悪化したら退去する必要があるか、6)申し込んでから入所までの期間、7)現在の住まいからの距離、8)月当たりの費用(介護サービス、食費、居住費含む)の観点から、回答者の選好を検討した。各属性の水準で想定した「望ましき」に沿った選好がおおむね示されており、回答者は設問の意図を理解できていた(設問の条件設定が妥当であった)と考えられる。

分析によって、健康状態が悪化しても継続して住めることについて、回答者は一貫して高く評価することが明らかになった。これは家族介護の経験がなくても高く評価されていたが、介護経験がある場合特に高く評価されていた。現在の住まいから施設に移動することは大きな決断であり、介護経験の有無にかかわらず、虚弱な高齢者が複数回この決断を行うこと(あるいは移動すること自体)が、負担として重すぎると考えたと思われる。また、退院(退所)後の行き場を見つけるために苦勞することは報道等でもよく知られており、特に家族介護の経験がある人にはよく認識されていた可能性がある。あるいは、実際にその経験があった可能性もある。

この結果は、類型ごとに異なった機能が想定されている(つまり、入所者が彼らのニーズに応じて施設間を移動していくことが想定されている)既存の介護保険施設と、住民のニーズのギャップを示している。現に、リハビリテーションや在宅復帰支援が主な機能と想定されている介護老人保健施設のうち、かなりの部分が特別養護老人ホームの代替として機能している。在宅復帰施設としての特色をもう一度強化すべく介護報酬が改定されてきているが、将来的にもそれができる施設はかなり限られることが予想される。

現在の住まいから施設が近いことは一般的に重視されていた。この点は、地域包括ケアや Aging in place の理念の妥当性を示していると考えられる。

待機期間の減少については、骨折を想定した回答者は重視していなかったのに対し、認知症を想定した回答者は重視していた。その他の属性に関しても、骨折を想定した回答者は認知症を想定した回答者よりも選好が明確でなかった。骨折の想定例が、回答者に入所の必要性を感じさせるに十分な重症度でなかった可能性もある。一方、認知症によって日常生活の安全が保てなくなる可能性が示された場合、回答者はすぐに入所することが必要であると判断した。一般住民は身体的な障害よりも、認知症のような認知機能の障害についてより敏感に反応する可能性がある。この違いについては現在の特別養護老人ホームの入所基準では考慮されていない。在宅での生活をより継続するために、日常生活の安全の確保が有効な手段となる可能性がある。

個室に対する回答者の選好は、意外なことに一貫していなかった。将来に向けての介護保険政策においては、個室は必須条件となっている。回答者の選好は現在の介護保険施設(多床室の入所者の方が多い)のイメージに影響された可能性がある。特別養護老人ホームの申込者に対する調査では、10パーセントの待機者(の家族)が個室を希望しており、50%の待機者(の家族)が、コストや待機期間、本人の状態を考慮して決めると回答していた。今回の研究で、自分自身が入所すると想定しても必ずしも個室に重きを置かないことが明らかになった。

日中の交流範囲はあまり施設の選択に影響していなかった。介護経験のある回答者は、どちらの想定例であっても、日中主に一人で過ごすことにネガティブな評価をしていた。交流に関する個人の考え方

に幅があることは予想していたが、友人や家族と過ごすことにたいする評価が小さいことは予想外であった。個室に対する考え方、交流範囲に関する考え方の背景にあるものについては、さらに検討する必要がある。

生活スケジュールや個人の選択が全て可能であること、ケア担当者が決まっていることに関する選好はほとんどの場合有意ではなかった。この結果はオランダにおける先行研究と異なっている。これらの点については介護報酬上の要件とはなっていないが、特に認知症の人のケアについては、専門家によって強く推奨されている点である。その効果について、回答者は十分に想像できなかった可能性がある。または、一般住民が介護保険施設サービスに高い信頼感を持っていることを示しているかもしれない。介護の専門家の推奨に基づき、介護保険政策は個別ケアを強調しているが、一般住民により理解を求める必要がある。個別ケアを重視した構造であるユニットケア施設は必ずしも優先的に被保険者から選ばれておらず、個別ケアを長期ケア施設においてどのように実現していくかについて、再度考える必要がある。認知症を想定した収入が高い回答者は個室を高く評価し、骨折を想定した収入が高い回答者は、一律の生活スケジュールや食事内容、ケアの担当者が決まっていないことを低く評価した。これらの結果は、より経済的に余裕のある回答者は個別ケアを高く評価しているということであり、つまり個別ケアは追加的なサービスであると考えられているということを示唆している。

回答者が想定した診断の影響は明確であった。身体の障害のみを想定した場合、回答者は個別ケアができず、一人ですごすような施設にネガティブな評価を与えた。しかし認知症を想定した場合、それらの要因の代わりに、個室であることやすぐに入所できることが重視された。この結果は認知症の人が「無視」「脱人格化」される¹⁶ことと関連しているかもしれない。日本では、精神科病院に長期入院する認知症患者が増加しており、たびたびその適切性が議論となっている。家族の考え方が認知症の人の入院に関連しているのであれば、やはり認知症に関する普及啓発が必要である。

認知症の想定例であっても、家族介護の経験がある人は、家族介護の経験がない人と比較して、個別ケアやコミュニケーションを高く評価した。彼らはより認知症の人についてよく知っていて、サービス提供の細部について想像できた可能性がある。

収入が選好に与える影響は想定した疾患によって異なっており、一貫していなかった。サービス付き高齢者住宅の整備等により、高齢者長期ケア施設の負担は徐々に公的財源から私的財源に移されつつあるが、今までは医療サービスと同様に、施設サービスは公的財源によってカバーされてきた。収入の与える影響が明確でなかったのは、この現状を反映していた可能性がある。

1. 限界

この研究にはいくつかの限界がある。まず、対象者は実際の介護保険受給者よりかなり若い。10年先のサービスを考えるために彼らの選好を把握したが、実際に彼らが長期ケア施設サービスを受けるようになるころには、別の選好を示すかもしれない。しかし、今の介護保険サービスは彼らの収める保険料で半分賄われており、彼らの選好は検討されたことがなかった。

次に、回答率の低さが挙げられる。対象者は退職前の年齢であり、我々はゆかりのない場所で無報酬での協力を依頼した。そのためもともと1割程度の回答率を想定して、対象数を設定していた。また、就

¹⁶ Brannelly T. Sustaining citizenship: people with dementia and the phenomenon of social death. *Nurs Ethics*, 2011; 18: 662-71.

業状況を考えると女性のみ回答者が偏ることも予想していたが、43%は男性の回答者であり、偏りは大きくなかった。今回の回答者の教育レベルは同じ年齢の集団と比べて同等であり、収入はやや低かった。今回の結果は、特に収入の高い人の選好について把握できていない可能性がある。最後に、方法でも記述した通り、表明選好法の欠点として、選好は必ずしも安定的ではないことが挙げられる。単一の研究の結果のみを一般化するのではなく、複数の研究を行うこと、また実際の選択行動（顕示選好法）を検討することも併せて必要である。

研究発表

本研究は、The Journal of Post-Acute and Long-Term Care Medicine 誌に掲載されました。書誌情報は下記の通りです。研究にご協力頂いた皆様に心より御礼申し上げます。

Sawamura K, Sano H, Nakanishi M. Japanese public long-term care insured: preferences for future long-term care facilities, including relocation, waiting times, and individualized care. *J Am Med Dir Assoc*. 2015 Apr 1;16(4):350.e9-350.e20. doi:10.1016/j.jamda.2015.01.082. Epub 2015 Feb 24.

資料編

高齢者ケア施設における個別ケアの充実にに関する研究 アンケート調査

医療経済研究機構は、医療や介護の政策のあり方を広く検討する研究機関です。この度、当機構におきましては、「高齢者ケア施設における個別ケアの充実にに関する研究」を実施することとなりました。このアンケートでは、一般の方が、高齢者長期ケア施設を利用する場合にどのようなことを重視して選ぶかについて調査することを目的としています。この結果から、今後の高齢社会対策のあり方を検討するための貴重な知見が得られることが期待されます。

このアンケートをお送りするにあたり、住民基本台帳法 第11条、第11条の2に基づき、お住いの自治体に申請をして必要な情報を取得しました。この情報は本調査票の発送作業終了後に破棄しましたので、個人情報は一切私どもの手元に残っておりません。また、私どもから他者に漏えいすることもございません。ご安心ください。アンケートから得た情報については、医療経済研究機構内の調査事務局において厳重に管理いたします。本調査票は無記名式となっており、調査事務局で個人を特定することはできません。

この調査へのご回答は義務ではありません。ご協力いただけない場合でも、不利益は一切生じません。その場合は廃棄して下さって結構です。なにとぞ本調査の趣旨をご理解頂き、ご協力賜りますようお願い申し上げます。ご協力いただける場合は、平成26年2月5日（水）頃までに、同封の返信用封筒にて返送いただけますと幸いに存じます。その際、お名前やご住所は記入不要です。

※調査の性質上、ご自身のご自宅での生活が難しい状態になったと仮定して考えて頂くことが必要になります。ご不快に感じられる方がいらっしゃるかもしれませんが、なにとぞご容赦くださいませ。

本調査に関するお問い合わせは以下までお寄せください。

一財) 医療経済研究・社会保険福祉協会 医療経済研究機構

〒105-0003 東京都港区西新橋1-5-11 東洋海事ビル2階
TEL: 03(3506)8529 FAX: 03(3506)8528

調査専用フリーダイヤル: 0120-568-535

担当: 沢村・中西・清水(平日 10:00~17:00)

あなたの、現在の状況についてご回答ください。

1. 基本属性 [特に指定がない場合は、あてはまるもの1つに ○ をつけてください]	
(1) 年齢	満 _____ 歳
(2) 性別	1. 男性 2. 女性
(3) 同居家族(あてはまるものすべてに○)	1. 配偶者(パートナー) 2. 子供 3. 一人暮らし 4. それ以外
(4) 最終学歴	1. 中学校卒 2. 高校卒 3. 短大・専門学校卒 4. 大卒以上
(5) おおよその世帯収入	1. 200万円未満 2. 200万~350万円未満 3. 350万~450万円未満 4. 450万~550万円未満 5. 550万~800万円未満 6. 800万円以上
(6) 住居の状況	1. 持ち家 2. 賃貸 3. それ以外
(7) 現在のお住まいと出身地の距離	1. 遠い 2. 近い 3. 今も住んでいる
(8) 家族介護のご経験	1. あり(過去) 2. あり(現在) 3. なし
(9) 現在の健康状態(あてはまるものすべてに○)	1. 良好 2. 治療中 3. 介護を受けている
(10) あなたが将来介護サービスの利用者になる可能性はどの程度あると思いますか。	1. 非常に高い 2. 高い 3. どちらとも言えない 4. 低い 5. 非常に低い 6. 現在利用中
(11) 高齢になった際、今のお住まいに住み続けるにあたりご心配な点(あてはまるものすべてに○)	1. 特にない 2. バリアフリーでない 3. 家賃や管理費などの支払い 4. 家や庭などの維持管理 5. 除雪作業 6. 介護サービスが少ない 7. 病院が遠い 8. 生活必需品の入手が難しい

あなたが、高齢者長期ケア施設を探している状況を想像してご回答ください。

※高齢者長期ケア施設とは、介護サービスが受けられる、自宅以外の施設全てを指します。介護保険施設（特別養護老人ホームなど）、有料老人ホームなどをイメージしてください。

II. 高齢者長期ケア施設に対する希望や許容範囲 [最も近いもの1つに ○ をつけてください]

(1) 許容できる1か月の利用料の上限（介護保険サービスに係る費用、居住費、食費を含む）

- | | | | |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 1. 5万円程度 | 2. 10万円程度 | 3. 15万円程度 | 4. 20万円程度 |
| 5. 25万円程度 | 6. 30万円程度 | 7. 30万円以上 | 8. わからない |

(2) 自分で高齢者長期ケア施設を選ぶとしたら、特に重視することはどのようなことですか。あてはまるものすべてに○をつけてください（いくつでも結構です）。

- | | |
|-------------------------|----------------|
| 1. 認知症の症状に対応してもらえる | 7. 職員が親切で感じがよい |
| 2. いつも見守っていてくれる | 8. 部屋が広い |
| 3. 話し相手がいる | 9. 食事がおいしい |
| 4. 自宅から近く、親族や知人が面会に来やすい | 10. よくわからない |
| 5. 最期までいられる | 11. その他 |
| 6. 料金が安い | 12. () |

III. 高齢者長期ケア施設選択における要因の優先度合い

仮に、あなたが以下のような状況で入所先を探している場合を想像してご回答ください。

あなたは80歳で、食事や整容（洗面、整髪、髭剃り、歯磨きなど）、トイレの使用、着替え、歩行の介助は必要ありません。排せつのコントロールが完全でなく、時折失禁することがあります。認知症の症状がみられ、薬の服用や戸締り、火の始末などについて自分で管理できなくなりつつあります。また入浴や外出に介助が必要になりました。ご家族はそれぞれお仕事や体調の都合であなたを十分にケアすることが難しい状況です。

あなたは高齢者長期ケア施設へ入所の検討をしています。あなたは施設Aと施設Bの関係者と面談し、条件について話し合いました。あなたは条件が異なる施設Aと施設Bのうち、どちらに入所するかを決めなければなりません。

回答にあたっての注意点を読んでから、以下の質問1～質問8にお答えください。

回答にあたっての注意点

- ・質問の中で示す以外の条件は、高齢者長期ケア施設Aと高齢者長期ケア施設Bで全て同じであると仮定します。
- ・質問は全部で8問あります。全ての質問にお答えください。
- ・全ての質問について、正しい答え、間違った答えというものはありません。

質問1：あなたはどちらの施設を選びますか？

高齢者長期ケア施設 A		高齢者長期ケア施設 B
一部自分で決められる 同じ施設の入居者やスタッフと交流する	生活スケジュール・食事内容 おもな交流の範囲	他の入所者と全て一緒である 同じ施設の入居者やスタッフと交流する
複数人部屋（2～4人）部屋（1人あたりの面積は6畳程度）	部屋（風呂・トイレは含まない）	個室（6畳程度）
決まっている	ケア担当者	決まっていない
退居しなければならない	健康状態が悪化したら	続けて住むことができる
1年以上	申し込んでから入所まで	1年未満
車で40分程度	現在の住まいからの距離	徒歩で行ける範囲
25万円	月当たりの費用 (介護サービス、食費、居住費含む)	25万円

施設 A がよい

施設 B がよい

どちらかの箱に○をつけてください。

質問2：あなたはどちらの施設を選びますか？

高齢者長期ケア施設 A		高齢者長期ケア施設 B
全て自分で決められる ひとりで過ごす	生活スケジュール・食事内容 おもな交流の範囲	一部自分で決められる 同じ施設の入居者やスタッフと交流する
個室（6畳程度）	部屋（風呂・トイレは含まない）	複数人部屋（2～4人）部屋（1人あたりの面積は6畳程度）
決まっている	ケア担当者	決まっている
退居しなければならない	健康状態が悪化したら	退居しなければならない
1年未満	申し込んでから入所まで	1年以上
車で40分程度	現在の住まいからの距離	車で40分程度
25万円	月当たりの費用 (介護サービス、食費、居住費含む)	25万円

施設 A がよい

施設 B がよい

どちらかの箱に○をつけてください。

(細かい文字の部分は、施設 A と施設 B で条件が同じです。)

質問3：あなたはどちらの施設を選びますか？

高齢者長期ケア施設 A		高齢者長期ケア施設 B
一部自分で決められる	生活スケジュール・食事内容	他の入所者と全て一緒である
同じ施設の入居者やスタッフと交流する	おもな交流の範囲	友人や親族をよんで交流する
複数人部屋（2～4人）部屋（1人あたりの面積は6畳程度）	部屋（風呂・トイレは含まない）	個室（6畳程度）
決まっている	ケア担当者	決まっている
退居しなければならない	健康状態が悪化したら	退居しなければならない
1年以上	申し込んでから入所まで	すぐに入れる
車で40分程度	現在の住まいからの距離	徒歩で行ける範囲
25万円	月当たりの費用 (介護サービス、食費、居住費含む)	10万円

施設 A がよい

施設 B がよい

どちらかの箱に○をつけてください。

質問4：あなたはどちらの施設を選びますか？

高齢者長期ケア施設 A		高齢者長期ケア施設 B
他の入所者と全て一緒である	生活スケジュール・食事内容	一部自分で決められる
ひとりで過ごす	おもな交流の範囲	同じ施設の入居者やスタッフと交流する
個室（6畳程度）	部屋（風呂・トイレは含まない）	複数人部屋（2～4人）部屋（1人あたりの面積は6畳程度）
決まっていない	ケア担当者	決まっている
退居しなければならない	健康状態が悪化したら	退居しなければならない
1年以上	申し込んでから入所まで	1年以上
徒歩で行ける範囲	現在の住まいからの距離	車で40分程度
40万円	月当たりの費用 (介護サービス、食費、居住費含む)	25万円

施設 A がよい

施設 B がよい

どちらかの箱に○をつけてください。

(細かい文字の部分は、施設 A と施設 B で条件が同じです。)

質問5：あなたはどちらの施設を選びますか？

高齢者長期ケア施設 A		高齢者長期ケア施設 B
一部自分で決められる	生活スケジュール・食事内容	一部自分で決められる
同じ施設の入居者やスタッフと交流する	おもな交流の範囲	同じ施設の入居者やスタッフと交流する
複数人部屋（2～4人）部屋（1人あたりの面積は6畳程度）	部屋（風呂・トイレは含まない）	複数人部屋（2～4人）部屋（1人あたりの面積は6畳程度）
決まっている	ケア担当者	決まっている
退居しなければならない	健康状態が悪化したら	続けて住むことができる
1年以上	申し込んでから入所まで	1年以上
車で40分程度	現在の住まいからの距離	徒歩で行ける範囲
25万円	月当たりの費用 (介護サービス、食費、居住費含む)	10万円

施設 A がよい

施設 B がよい

どちらかの箱に○をつけてください。

質問6：あなたはどちらの施設を選びますか？

高齢者長期ケア施設 A		高齢者長期ケア施設 B
全て自分で決められる	生活スケジュール・食事内容	一部自分で決められる
同じ施設の入居者やスタッフと交流する	おもな交流の範囲	同じ施設の入居者やスタッフと交流する
個室（6畳程度）	部屋（風呂・トイレは含まない）	複数人部屋（2～4人）部屋（1人あたりの面積は6畳程度）
決まっていない	ケア担当者	決まっている
退居しなければならない	健康状態が悪化したら	退居しなければならない
すぐに入れる	申し込んでから入所まで	1年以上
車で40分程度	現在の住まいからの距離	車で40分程度
10万円	月当たりの費用 (介護サービス、食費、居住費含む)	25万円

施設 A がよい

施設 B がよい

どちらかの箱に○をつけてください。

(細かい文字の部分は、施設 A と施設 B で条件が同じです。)

質問7：あなたはどちらの施設を選びますか？

高齢者長期ケア施設 A		高齢者長期ケア施設 B
一部自分で決められる	生活スケジュール・食事内容	他の入所者と全て一緒である
同じ施設の入居者やスタッフと交流する	おもな交流の範囲	ひとりで過ごす
複数人部屋（2～4人）部屋（1人あたりの面積は6畳程度）	部屋（風呂・トイレは含まない）	複数人部屋（2～4人）部屋（1人あたりの面積は6畳程度）
決まっている	ケア担当者	決まっていない
退居しなければならない	健康状態が悪化したら	続けて住むことができる
1年以上	申し込んでから入所まで	1年以上
車で 40 分程度	現在の住まいからの距離	車で 20 分程度
25 万円	月当たりの費用 (介護サービス、食費、居住費含む)	25 万円

施設 A がよい

施設 B がよい

どちらかの箱に○をつけてください。

質問8：あなたはどちらの施設を選びますか？

高齢者長期ケア施設 A		高齢者長期ケア施設 B
全て自分で決められる	生活スケジュール・食事内容	一部自分で決められる
同じ施設の入居者やスタッフと交流する	おもな交流の範囲	同じ施設の入居者やスタッフと交流する
複数人部屋（2～4人）部屋（1人あたりの面積は6畳程度）	部屋（風呂・トイレは含まない）	複数人部屋（2～4人）部屋（1人あたりの面積は6畳程度）
決まっていない	ケア担当者	決まっている
退居しなければならない	健康状態が悪化したら	退居しなければならない
すぐに入れる	申し込んでから入所まで	1年以上
車で 20 分程度	現在の住まいからの距離	車で 40 分程度
25 万円	月当たりの費用 (介護サービス、食費、居住費含む)	25 万円

施設 A がよい

施設 B がよい

どちらかの箱に○をつけてください。

(細かい文字の部分は、施設 A と施設 B で条件が同じです。)

高齢者ケア施設における個別ケアの充実にに関する研究 アンケート調査

医療経済研究機構は、医療や介護の政策のあり方を広く検討する研究機関です。この度、当機構におきましては、「高齢者ケア施設における個別ケアの充実にに関する研究」を実施することとなりました。このアンケートでは、一般の方が、高齢者長期ケア施設を利用する場合にどのようなことを重視して選ぶかについて調査することを目的としています。この結果から、今後の高齢社会対策のあり方を検討するための貴重な知見が得られることが期待されます。

このアンケートをお送りするにあたり、住民基本台帳法 第11条、第11条の2に基づき、お住いの自治体に申請をして必要な情報を取得しました。この情報は本調査票の発送作業終了後に破棄しましたので、個人情報は一切私どもの手元に残っておりません。また、私どもから他者に漏えいすることもございません。ご安心ください。アンケートから得た情報については、医療経済研究機構内の調査事務局において厳重に管理いたします。本調査票は無記名式となっており、調査事務局で個人を特定することはできません。

この調査へのご回答は義務ではありません。ご協力いただけない場合でも、不利益は一切生じません。その場合は廃棄して下さって結構です。なにとぞ本調査の趣旨をご理解頂き、ご協力賜りますようお願い申し上げます。ご協力いただける場合は、平成26年2月5日（水）頃までに、同封の返信用封筒にて返送いただけますと幸いに存じます。その際、お名前やご住所は記入不要です。

※調査の性質上、ご自身のご自宅での生活が難しい状態になったと仮定して考えて頂くことが必要になります。ご不快に感じられる方がいらっしゃるかもしれませんが、なにとぞご容赦くださいませ。

本調査に関するお問い合わせは以下までお寄せください。

一財) 医療経済研究・社会保険福祉協会 医療経済研究機構

〒105-0003 東京都港区西新橋1-5-11 東洋海事ビル2階
TEL: 03(3506)8529 FAX: 03(3506)8528

調査専用フリーダイヤル: 0120-568-535

担当: 沢村・中西・清水(平日 10:00~17:00)

あなたの、現在の状況についてご回答ください。

1. 基本属性 [特に指定がない場合は、あてはまるもの1つに ○ をつけてください]	
(1) 年齢	満 _____ 歳
(2) 性別	1. 男性 2. 女性
(3) 同居家族(あてはまるものすべてに○)	1. 配偶者(パートナー) 2. 子供 3. 一人暮らし 4. それ以外
(4) 最終学歴	1. 中学校卒 2. 高校卒 3. 短大・専門学校卒 4. 大卒以上
(5) おおよその世帯収入	1. 200万円未満 2. 200万~350万円未満 3. 350万~450万円未満 4. 450万~550万円未満 5. 550万~800万円未満 6. 800万円以上
(6) 住居の状況	1. 持ち家 2. 賃貸 3. それ以外
(7) 現在のお住まいと出身地の距離	1. 遠い 2. 近い 3. 今も住んでいる
(8) 家族介護のご経験	1. あり(過去) 2. あり(現在) 3. なし
(9) 現在の健康状態(あてはまるものすべてに○)	1. 良好 2. 治療中 3. 介護を受けている
(10) あなたが将来介護サービスの利用者になる可能性はどの程度あると思いますか。	1. 非常に高い 2. 高い 3. どちらとも言えない 4. 低い 5. 非常に低い 6. 現在利用中
(11) 高齢になった際、今のお住まいに住み続けるにあたりご心配な点(あてはまるものすべてに○)	1. 特にない 2. バリアフリーでない 3. 家賃や管理費などの支払い 4. 家や庭などの維持管理 5. 除雪作業 6. 介護サービスが少ない 7. 病院が遠い 8. 生活必需品の入手が難しい

あなたが、高齢者長期ケア施設を探している状況を想像してご回答ください。

※高齢者長期ケア施設とは、介護サービスが受けられる、自宅以外の施設全てを指します。介護保険施設（特別養護老人ホームなど）、有料老人ホームなどをイメージしてください。

II. 高齢者長期ケア施設に対する希望や許容範囲 [最も近いもの1つに ○ をつけてください]

(1) 許容できる1か月の利用料の上限（介護保険サービスに係る費用、居住費、食費を含む）

- | | | | |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 1. 5万円程度 | 2. 10万円程度 | 3. 15万円程度 | 4. 20万円程度 |
| 5. 25万円程度 | 6. 30万円程度 | 7. 30万円以上 | 8. わからない |

(2) 自分で高齢者長期ケア施設を選ぶとしたら、特に重視することはどのようなことですか。あてはまるものすべてに○をつけてください（いくつでも結構です）。

- | | |
|-------------------------|----------------|
| 1. 認知症の症状に対応してもらえる | 7. 職員が親切で感じがよい |
| 2. いつも見守っていてくれる | 8. 部屋が広い |
| 3. 話し相手がいる | 9. 食事がおいしい |
| 4. 自宅から近く、親族や知人が面会に来やすい | 10. よくわからない |
| 5. 最期までいられる | 11. その他 |
| 6. 料金が安い | 12. () |

III. 高齢者長期ケア施設選択における要因の優先度合い

仮に、あなたが以下のような状況で入所先を探している場合を想像してご回答ください。

あなたは80歳で、食事や整容（洗面、整髪、髭剃り、歯磨きなど）、トイレの使用、着替え、歩行の介助は必要ありません。排せつのコントロールが完全でなく、時折失禁することがあります。認知症の症状がみられ、薬の服用や戸締り、火の始末などについて自分で管理できなくなりつつあります。また入浴や外出に介助が必要になりました。ご家族はそれぞれお仕事や体調の都合であなたを十分にケアすることが難しい状況です。

あなたは高齢者長期ケア施設へ入所の検討をしています。あなたは施設Aと施設Bの関係者と面談し、条件について話し合いました。あなたは条件が異なる施設Aと施設Bのうち、どちらに入所するかを決めなければなりません。

回答にあたっての注意点を読んでから、以下の質問1～質問9にお答えください。

回答にあたっての注意点

- ・質問の中で示す以外の条件は、高齢者長期ケア施設Aと高齢者長期ケア施設Bで全て同じであると仮定します。
- ・質問は全部で9問あります。全ての質問にお答えください。
- ・全ての質問について、正しい答え、間違った答えというものはありません。

質問1：あなたはどちらの施設を選びますか？

高齢者長期ケア施設 A		高齢者長期ケア施設 B
一部自分で決められる	生活スケジュール・食事内容	一部自分で決められる
同じ施設の入居者やスタッフと交流する	おもな交流の範囲	ひとりで過ごす
複数人部屋（2～4人）部屋（1人あたりの面積は6畳程度）	部屋（風呂・トイレは含まない）	複数人部屋（2～4人）部屋（1人あたりの面積は6畳程度）
決まっている	ケア担当者	決まっていない
退居しなければならない	健康状態が悪化したら	退居しなければならない
1年以上	申し込んでから入所まで	すぐに入れる
車で40分程度	現在の住まいからの距離	車で40分程度
25万円	月当たりの費用 (介護サービス、食費、居住費含む)	40万円

施設 A がよい

施設 B がよい

どちらかの箱に○をつけてください。

質問2：あなたはどちらの施設を選びますか？

高齢者長期ケア施設 A		高齢者長期ケア施設 B
他の入所者と全て一緒である	生活スケジュール・食事内容	一部自分で決められる
友人や親族をよんで交流する	おもな交流の範囲	同じ施設の入居者やスタッフと交流する
複数人部屋（2～4人）部屋（1人あたりの面積は6畳程度）	部屋（風呂・トイレは含まない）	複数人部屋（2～4人）部屋（1人あたりの面積は6畳程度）
決まっている	ケア担当者	決まっている
続けて住むことができる	健康状態が悪化したら	退居しなければならない
すぐに入れる	申し込んでから入所まで	1年以上
車で40分程度	現在の住まいからの距離	車で40分程度
25万円	月当たりの費用 (介護サービス、食費、居住費含む)	25万円

施設 A がよい

施設 B がよい

どちらかの箱に○をつけてください。

(細かい文字の部分は、施設 A と施設 B で条件が同じです。)

質問3：あなたはどちらの施設を選びますか？

高齢者長期ケア施設 A		高齢者長期ケア施設 B
一部自分で決められる	生活スケジュール・食事内容	全て自分で決められる
同じ施設の入居者やスタッフと交流する	おもな交流の範囲	ひとりで過ごす
複数人部屋（2～4人）部屋（1人あたりの面積は6畳程度）	部屋（風呂・トイレは含まない）	複数人部屋（2～4人）部屋（1人あたりの面積は6畳程度）
決まっている	ケア担当者	決まっている
退居しなければならない	健康状態が悪化したら	退居しなければならない
1年以上	申し込んでから入所まで	1年未満
車で40分程度	現在の住まいからの距離	徒歩で行ける範囲
25万円	月当たりの費用 (介護サービス、食費、居住費含む)	10万円

施設 A がよい

施設 B がよい

どちらかの箱に○をつけてください。

質問4：あなたはどちらの施設を選びますか？

高齢者長期ケア施設 A		高齢者長期ケア施設 B
一部自分で決められる	生活スケジュール・食事内容	一部自分で決められる
友人や親族をよんで交流する	おもな交流の範囲	同じ施設の入居者やスタッフと交流する
複数人部屋（2～4人）部屋（1人あたりの面積は6畳程度）	部屋（風呂・トイレは含まない）	複数人部屋（2～4人）部屋（1人あたりの面積は6畳程度）
決まっていない	ケア担当者	決まっている
続けて住むことができる	健康状態が悪化したら	退居しなければならない
1年未満	申し込んでから入所まで	1年以上
車で40分程度	現在の住まいからの距離	車で40分程度
10万円	月当たりの費用 (介護サービス、食費、居住費含む)	25万円

施設 A がよい

施設 B がよい

どちらかの箱に○をつけてください。

（細い文字の部分は、施設 A と施設 B で条件が同じです。）

質問5：あなたはどちらの施設を選びますか？

高齢者長期ケア施設 A		高齢者長期ケア施設 B
一部自分で決められる	生活スケジュール・食事内容	他の入所者と全て一緒である
同じ施設の入居者やスタッフと交流する	おもな交流の範囲	同じ施設の入居者やスタッフと交流する
複数人部屋（2～4人）部屋（1人あたりの面積は6畳程度）	部屋（風呂・トイレは含まない）	複数人部屋（2～4人）部屋（1人あたりの面積は6畳程度）
決まっている	ケア担当者	決まっていない
退居しなければならない	健康状態が悪化したら	退居しなければならない
1年以上	申し込んでから入所まで	1年未満
車で40分程度	現在の住まいからの距離	車で20分程度
25万円	月当たりの費用 (介護サービス、食費、居住費含む)	10万円

施設 A がよい

施設 B がよい

どちらかの箱に○をつけてください。

質問6：あなたはどちらの施設を選びますか？

高齢者長期ケア施設 A		高齢者長期ケア施設 B
一部自分で決められる	生活スケジュール・食事内容	一部自分で決められる
同じ施設の入居者やスタッフと交流する	おもな交流の範囲	同じ施設の入居者やスタッフと交流する
個室（6畳程度）	部屋（風呂・トイレは含まない）	複数人部屋（2～4人）部屋（1人あたりの面積は6畳程度）
決まっている	ケア担当者	決まっている
退居しなければならない	健康状態が悪化したら	退居しなければならない
1年以上	申し込んでから入所まで	1年以上
車で20分程度	現在の住まいからの距離	車で40分程度
40万円	月当たりの費用 (介護サービス、食費、居住費含む)	25万円

施設 A がよい

施設 B がよい

どちらかの箱に○をつけてください。

(細かい文字の部分は、施設 A と施設 B で条件が同じです。)

質問7：あなたはどちらの施設を選びますか？

高齢者長期ケア施設 A		高齢者長期ケア施設 B
一部自分で決められる	生活スケジュール・食事内容	全て自分で決められる
同じ施設の入居者やスタッフと交流する	おもな交流の範囲	友人や親族をよんで交流する
複数人部屋（2～4人）部屋（1人あたりの面積は6畳程度）	部屋（風呂・トイレは含まない）	個室（6畳程度）
決まっている	ケア担当者	決まっていない
退居しなければならない	健康状態が悪化したら	続けて住むことができる
1年以上	申し込んでから入所まで	1年以上
車で40分程度	現在の住まいからの距離	車で40分程度
25万円	月当たりの費用 (介護サービス、食費、居住費含む)	40万円

施設 A がよい

施設 B がよい

どちらかの箱に○をつけてください。

質問8：あなたはどちらの施設を選びますか？

高齢者長期ケア施設 A		高齢者長期ケア施設 B
全て自分で決められる	生活スケジュール・食事内容	一部自分で決められる
ひとりで過ごす	おもな交流の範囲	同じ施設の入居者やスタッフと交流する
複数人部屋(2～4人)部屋 (1人あたりの面積は6畳程度)	部屋（風呂・トイレは含まない）	複数人部屋（2～4人）部屋（1人あたりの面積は6畳程度）
決まっている	ケア担当者	決まっている
続けて住むことができる	健康状態が悪化したら	退居しなければならない
1年未満	申し込んでから入所まで	1年以上
車で20分程度	現在の住まいからの距離	車で40分程度
40万円	月当たりの費用 (介護サービス、食費、居住費含む)	25万円

施設 A がよい

施設 B がよい

どちらかの箱に○をつけてください。

(細かい文字の部分は、施設 A と施設 B で条件が同じです。)

質問9：あなたはどちらの施設を選びますか？

高齢者長期ケア施設 A		高齢者長期ケア施設 B
一部自分で決められる	生活スケジュール・食事内容	全て自分で決められる
同じ施設の入居者やスタッフと交流する	おもな交流の範囲	同じ施設の入居者やスタッフと交流する
複数人部屋（2～4人）部屋（1人あたりの面積は6畳程度）	部屋（風呂・トイレは含まない）	複数人部屋（2～4人）部屋（1人あたりの面積は6畳程度）
決まっている	ケア担当者	決まっていない
退居しなければならない	健康状態が悪化したら	続けて住むことができる
1年以上	申し込んでから入所まで	すぐに入れる
車で40分程度	現在の住まいからの距離	徒歩で行ける範囲
25万円	月当たりの費用 (介護サービス、食費、居住費含む)	40万円

施設 A がよい

施設 B がよい

どちらかの箱に○をつけてください。

(細かい文字の部分は、施設 A と施設 B で条件が同じです。)

高齢者ケア施設における個別ケアの充実にに関する研究 アンケート調査

医療経済研究機構は、医療や介護の政策のあり方を広く検討する研究機関です。この度、当機構におきましては、「高齢者ケア施設における個別ケアの充実にに関する研究」を実施することとなりました。このアンケートでは、一般の方が、高齢者長期ケア施設を利用する場合にどのようなことを重視して選ぶかについて調査することを目的としています。この結果から、今後の高齢社会対策のあり方を検討するための貴重な知見が得られることが期待されます。

このアンケートをお送りするにあたり、住民基本台帳法 第11条、第11条の2に基づき、お住いの自治体に申請をして必要な情報を取得しました。この情報は本調査票の発送作業終了後に破棄しましたので、個人情報は一切私どもの手元に残っておりません。また、私どもから他者に漏えいすることもございません。ご安心ください。アンケートから得た情報については、医療経済研究機構内の調査事務局において厳重に管理いたします。本調査票は無記名式となっており、調査事務局で個人を特定することはできません。

この調査へのご回答は義務ではありません。ご協力いただけない場合でも、不利益は一切生じません。その場合は廃棄して下さって結構です。なにとぞ本調査の趣旨をご理解頂き、ご協力賜りますようお願い申し上げます。ご協力いただける場合は、平成26年2月5日（水）頃までに、同封の返信用封筒にて返送いただけますと幸いです。その際、お名前やご住所は記入不要です。

※調査の性質上、ご自身のご自宅での生活が難しい状態になったと仮定して考えて頂くことが必要になります。ご不快に感じられる方がいらっしゃるかもしれませんが、なにとぞご容赦くださいませ。

本調査に関するお問い合わせは以下までお寄せください。

一財) 医療経済研究・社会保険福祉協会 医療経済研究機構

〒105-0003 東京都港区西新橋1-5-11 東洋海事ビル2階
TEL: 03(3506)8529 FAX: 03(3506)8528

調査専用フリーダイヤル: 0120-568-535

担当: 沢村・中西・清水(平日 10:00~17:00)

あなたの、現在の状況についてご回答ください。

1. 基本属性 [特に指定がない場合は、あてはまるもの1つに ○ をつけてください]	
(1) 年齢	満 _____ 歳
(2) 性別	1. 男性 2. 女性
(3) 同居家族(あてはまるものすべてに○)	1. 配偶者(パートナー) 2. 子供 3. 一人暮らし 4. それ以外
(4) 最終学歴	1. 中学校卒 2. 高校卒 3. 短大・専門学校卒 4. 大卒以上
(5) おおよその世帯収入	1. 200万円未満 2. 200万~350万円未満 3. 350万~450万円未満 4. 450万~550万円未満 5. 550万~800万円未満 6. 800万円以上
(6) 住居の状況	1. 持ち家 2. 賃貸 3. それ以外
(7) 現在のお住まいと出身地の距離	1. 遠い 2. 近い 3. 今も住んでいる
(8) 家族介護のご経験	1. あり(過去) 2. あり(現在) 3. なし
(9) 現在の健康状態(あてはまるものすべてに○)	1. 良好 2. 治療中 3. 介護を受けている
(10) あなたが将来介護サービスの利用者になる可能性はどの程度あると思いますか。	1. 非常に高い 2. 高い 3. どちらとも言えない 4. 低い 5. 非常に低い 6. 現在利用中
(11) 高齢になった際、今のお住まいに住み続けるにあたりご心配な点(あてはまるものすべてに○)	1. 特にない 2. バリアフリーでない 3. 家賃や管理費などの支払い 4. 家や庭などの維持管理 5. 除雪作業 6. 介護サービスが少ない 7. 病院が遠い 8. 生活必需品の入手が難しい

あなたが、高齢者長期ケア施設を探している状況を想像してご回答ください。

※高齢者長期ケア施設とは、介護サービスが受けられる、自宅以外の施設全てを指します。介護保険施設（特別養護老人ホームなど）、有料老人ホームなどをイメージしてください。

II. 高齢者長期ケア施設に対する希望や許容範囲 [最も近いもの1つに ○ をつけてください]

(1) 許容できる1か月の利用料の上限（介護保険サービスに係る費用、居住費、食費を含む）

- | | | | |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 1. 5万円程度 | 2. 10万円程度 | 3. 15万円程度 | 4. 20万円程度 |
| 5. 25万円程度 | 6. 30万円程度 | 7. 30万円以上 | 8. わからない |

(2) 自分で高齢者長期ケア施設を選ぶとしたら、特に重視することはどのようなことですか。あてはまるものすべてに○をつけてください（いくつでも結構です）。

- | | |
|-------------------------|----------------|
| 1. 認知症の症状に対応してもらえる | 7. 職員が親切で感じがよい |
| 2. いつも見守っていてくれる | 8. 部屋が広い |
| 3. 話し相手がいる | 9. 食事がおいしい |
| 4. 自宅から近く、親族や知人が面会に来やすい | 10. よくわからない |
| 5. 最期までいられる | 11. その他 |
| 6. 料金が安い | 12. () |

III. 高齢者長期ケア施設選択における要因の優先度合い

仮に、あなたが以下のような状況で入所先を探している場合を想像してご回答ください。

あなたは80歳で、食事や整容（洗面、整髪、髭剃り、歯磨きなど）、トイレの使用、着替え、歩行の介助は必要ありません。排せつのコントロールが完全でなく、時折失禁することがあります。認知症の症状がみられ、薬の服用や戸締り、火の始末などについて自分で管理できなくなりつつあります。また入浴や外出に介助が必要になりました。ご家族はそれぞれお仕事や体調の都合であなたを十分にケアすることが難しい状況です。

あなたは高齢者長期ケア施設へ入所の検討をしています。あなたは施設Aと施設Bの関係者と面談し、条件について話し合いました。あなたは条件が異なる施設Aと施設Bのうち、どちらに入所するかを決めなければなりません。

回答にあたっての注意点を読んでから、以下の質問1～質問9にお答えください。

回答にあたっての注意点

- ・質問の中で示す以外の条件は、高齢者長期ケア施設Aと高齢者長期ケア施設Bで全て同じであると仮定します。
- ・質問は全部で9問あります。全ての質問にお答えください。
- ・全ての質問について、正しい答え、間違った答えというものはありません。

質問1：あなたはどちらの施設を選びますか？

高齢者長期ケア施設 A		高齢者長期ケア施設 B
一部自分で決められる	生活スケジュール・食事内容	全て自分で決められる
同じ施設の入居者やスタッフと交流する	おもな交流の範囲	友人や親族をよんで交流する
複数人部屋（2～4人）部屋（1人あたりの面積は6畳程度）	部屋（風呂・トイレは含まない）	複数人部屋（2～4人）部屋（1人あたりの面積は6畳程度）
決まっている	ケア担当者	決まっていない
退居しなければならない	健康状態が悪化したら	退居しなければならない
1年以上	申し込んでから入所まで	1年以上
車で 40 分程度	現在の住まいからの距離	車で 20 分程度
25 万円	月当たりの費用 (介護サービス、食費、居住費含む)	10 万円

施設 A がよい

施設 B がよい

どちらかの箱に○をつけてください。

質問2：あなたはどちらの施設を選びますか？

高齢者長期ケア施設 A		高齢者長期ケア施設 B
一部自分で決められる	生活スケジュール・食事内容	一部自分で決められる
友人や親族をよんで交流する	おもな交流の範囲	同じ施設の入居者やスタッフと交流する
複数人部屋（2～4人）部屋（1人あたりの面積は6畳程度）	部屋（風呂・トイレは含まない）	複数人部屋（2～4人）部屋（1人あたりの面積は6畳程度）
決まっていない	ケア担当者	決まっている
退居しなければならない	健康状態が悪化したら	退居しなければならない
1 年未満	申し込んでから入所まで	1 年以上
徒歩で行ける範囲	現在の住まいからの距離	車で 40 分程度
40 万円	月当たりの費用 (介護サービス、食費、居住費含む)	25 万円

施設 A がよい

施設 B がよい

どちらかの箱に○をつけてください。

(細かい文字の部分は、施設 A と施設 B で条件が同じです。)

質問3：あなたはどちらの施設を選びますか？

高齢者長期ケア施設 A		高齢者長期ケア施設 B
一部自分で決められる	生活スケジュール・食事内容	全て自分で決められる
同じ施設の入居者やスタッフと交流する	おもな交流の範囲	友人や親族をよんで交流する
複数人部屋（2～4人）部屋（1人あたりの面積は6畳程度）	部屋（風呂・トイレは含まない）	複数人部屋（2～4人）部屋（1人あたりの面積は6畳程度）
決まっている	ケア担当者	決まっていない
退居しなければならない	健康状態が悪化したら	退居しなければならない
1年以上	申し込んでから入所まで	1年以上
車で 40 分程度	現在の住まいからの距離	徒歩で行ける範囲
25 万円	月当たりの費用 (介護サービス、食費、居住費含む)	25 万円

施設 A がよい

施設 B がよい

どちらかの箱に○をつけてください。

質問4：あなたはどちらの施設を選びますか？

高齢者長期ケア施設 A		高齢者長期ケア施設 B
一部自分で決められる	生活スケジュール・食事内容	一部自分で決められる
友人や親族をよんで交流する	おもな交流の範囲	同じ施設の入居者やスタッフと交流する
個室（6畳程度）	部屋（風呂・トイレは含まない）	複数人部屋（2～4人）部屋（1人あたりの面積は6畳程度）
決まっていない	ケア担当者	決まっている
退居しなければならない	健康状態が悪化したら	退居しなければならない
1 年未満	申し込んでから入所まで	1 年以上
車で 20 分程度	現在の住まいからの距離	車で 40 分程度
25 万円	月当たりの費用 (介護サービス、食費、居住費含む)	25 万円

施設 A がよい

施設 B がよい

どちらかの箱に○をつけてください。

（細かい文字の部分は、施設 A と施設 B で条件が同じです。）

質問5：あなたはどちらの施設を選びますか？

高齢者長期ケア施設 A		高齢者長期ケア施設 B
一部自分で決められる	生活スケジュール・食事内容	一部自分で決められる
同じ施設の入居者やスタッフと交流する	おもな交流の範囲	ひとりで過ごす
複数人部屋（2～4人）部屋（1人あたりの面積は6畳程度）	部屋（風呂・トイレは含まない）	個室（6畳程度）
決まっている	ケア担当者	決まっていない
退居しなければならない	健康状態が悪化したら	続けて住むことができる
1年以上	申し込んでから入所まで	すぐに入れる
車で40分程度	現在の住まいからの距離	車で20分程度
25万円	月当たりの費用 (介護サービス、食費、居住費含む)	10万円

施設 A がよい

施設 B がよい

どちらかの箱に○をつけてください。

質問6：あなたはどちらの施設を選びますか？

高齢者長期ケア施設 A		高齢者長期ケア施設 B
他の入所者と全て一緒である	生活スケジュール・食事内容	一部自分で決められる
同じ施設の入居者やスタッフと交流する	おもな交流の範囲	同じ施設の入居者やスタッフと交流する
複数人部屋(2～4人)部屋(1人あたりの面積は6畳程度)	部屋（風呂・トイレは含まない）	複数人部屋（2～4人）部屋（1人あたりの面積は6畳程度）
決まっていない	ケア担当者	決まっている
退居しなければならない	健康状態が悪化したら	退居しなければならない
1年未満	申し込んでから入所まで	1年以上
車で40分程度	現在の住まいからの距離	車で40分程度
40万円	月当たりの費用 (介護サービス、食費、居住費含む)	25万円

施設 A がよい

施設 B がよい

どちらかの箱に○をつけてください。

(細かい文字の部分は、施設 A と施設 B で条件が同じです。)

質問7：あなたはどちらの施設を選びますか？

高齢者長期ケア施設 A		高齢者長期ケア施設 B
一部自分で決められる	生活スケジュール・食事内容	一部自分で決められる
同じ施設の入居者やスタッフと交流する	おもな交流の範囲	ひとりで過ごす
複数人部屋（2～4人）部屋（1人あたりの面積は6畳程度）	部屋（風呂・トイレは含まない）	複数人部屋（2～4人）部屋（1人あたりの面積は6畳程度）
決まっている	ケア担当者	決まっていない
退居しなければならない	健康状態が悪化したら	退居しなければならない
1年以上	申し込んでから入所まで	すぐに入れる
車で 40 分程度	現在の住まいからの距離	徒歩で行ける範囲
25 万円	月当たりの費用 (介護サービス、食費、居住費含む)	25 万円

施設 A がよい

施設 B がよい

どちらかの箱に○をつけてください。

質問8：あなたはどちらの施設を選びますか？

高齢者長期ケア施設 A		高齢者長期ケア施設 B
他の入所者と全て一緒である	生活スケジュール・食事内容	一部自分で決められる
友人や親族をよんで交流する	おもな交流の範囲	同じ施設の入居者やスタッフと交流する
複数人部屋（2～4人）部屋（1人あたりの面積は6畳程度）	部屋（風呂・トイレは含まない）	複数人部屋（2～4人）部屋（1人あたりの面積は6畳程度）
決まっている	ケア担当者	決まっている
退居しなければならない	健康状態が悪化したら	退居しなければならない
すぐに入れる	申し込んでから入所まで	1年以上
車で 20 分程度	現在の住まいからの距離	車で 40 分程度
40 万円	月当たりの費用 (介護サービス、食費、居住費含む)	25 万円

施設 A がよい

施設 B がよい

どちらかの箱に○をつけてください。

(細かい文字の部分は、施設 A と施設 B で条件が同じです。)

質問9：あなたはどちらの施設を選びますか？

高齢者長期ケア施設 A		高齢者長期ケア施設 B
一部自分で決められる	生活スケジュール・食事内容	他の入所者と全て一緒である
同じ施設の入居者やスタッフと交流する	おもな交流の範囲	ひとりで過ごす
複数人部屋（2～4人）部屋（1人あたりの面積は6畳程度）	部屋（風呂・トイレは含まない）	複数人部屋（2～4人）部屋（1人あたりの面積は6畳程度）
決まっている	ケア担当者	決まっていない
退居しなければならない	健康状態が悪化したら	退居しなければならない
1年以上	申し込んでから入所まで	1年以上
車で40分程度	現在の住まいからの距離	車で40分程度
25万円	月当たりの費用 (介護サービス、食費、居住費含む)	10万円

施設 A がよい

施設 B がよい

どちらかの箱に○をつけてください。

(細かい文字の部分は、施設 A と施設 B で条件が同じです。)

高齢者ケア施設における個別ケアの充実にに関する研究 アンケート調査

医療経済研究機構は、医療や介護の政策のあり方を広く検討する研究機関です。この度、当機構におきましては、「高齢者ケア施設における個別ケアの充実にに関する研究」を実施することとなりました。このアンケートでは、一般の方が、高齢者長期ケア施設を利用する場合にどのようなことを重視して選ぶかについて調査することを目的としています。この結果から、今後の高齢社会対策のあり方を検討するための貴重な知見が得られることが期待されます。

このアンケートをお送りするにあたり、住民基本台帳法 第11条、第11条の2に基づき、お住いの自治体に申請をして必要な情報を取得しました。この情報は本調査票の発送作業終了後に破棄しましたので、個人情報は一切私どもの手元に残っておりません。また、私どもから他者に漏えいすることもございません。ご安心ください。アンケートから得た情報については、医療経済研究機構内の調査事務局において厳重に管理いたします。本調査票は無記名式となっており、調査事務局で個人を特定することはできません。

この調査へのご回答は義務ではありません。ご協力いただけない場合でも、不利益は一切生じません。その場合は廃棄して下さって結構です。なにとぞ本調査の趣旨をご理解頂き、ご協力賜りますようお願い申し上げます。ご協力いただける場合は、平成26年2月5日（水）頃までに、同封の返信用封筒にて返送いただけますと幸いに存じます。その際、お名前やご住所は記入不要です。

※調査の性質上、ご自身のご自宅での生活が難しい状態になったと仮定して考えて頂くことが必要になります。ご不快に感じられる方がいらっしゃるかもしれませんが、なにとぞご容赦くださいませ。

本調査に関するお問い合わせは以下までお寄せください。

一財) 医療経済研究・社会保険福祉協会 医療経済研究機構

〒105-0003 東京都港区西新橋1-5-11 11 東洋海事ビル2階
TEL: 03(3506)8529 FAX: 03(3506)8528

調査専用フリーダイヤル: 0120-568-535

担当: 沢村・中西・清水(平日 10:00~17:00)

あなたの、現在の状況についてご回答ください。

1. 基本属性 [特に指定がない場合は、あてはまるもの1つに ○ をつけてください]	
(1) 年齢	満 _____ 歳
(2) 性別	1. 男性 2. 女性
(3) 同居家族(あてはまるものすべてに○)	1. 配偶者(パートナー) 2. 子供 3. 一人暮らし 4. それ以外
(4) 最終学歴	1. 中学校卒 2. 高校卒 3. 短大・専門学校卒 4. 大卒以上
(5) おおよその世帯収入	1. 200万円未満 2. 200万~350万円未満 3. 350万~450万円未満 4. 450万~550万円未満 5. 550万~800万円未満 6. 800万円以上
(6) 住居の状況	1. 持ち家 2. 賃貸 3. それ以外
(7) 現在のお住まいと出身地の距離	1. 遠い 2. 近い 3. 今も住んでいる
(8) 家族介護のご経験	1. あり(過去) 2. あり(現在) 3. なし
(9) 現在の健康状態(あてはまるものすべてに○)	1. 良好 2. 治療中 3. 介護を受けている
(10) あなたが将来介護サービスの利用者になる可能性はどの程度あると思いますか。	1. 非常に高い 2. 高い 3. どちらとも言えない 4. 低い 5. 非常に低い 6. 現在利用中
(11) 高齢になった際、今のお住まいに住み続けるにあたりご心配な点(あてはまるものすべてに○)	1. 特にない 2. バリアフリーでない 3. 家賃や管理費などの支払い 4. 家や庭などの維持管理 5. 除雪作業 6. 介護サービスが少ない 7. 病院が遠い 8. 生活必需品の入手が難しい

あなたが、高齢者長期ケア施設を探している状況を想像してご回答ください。

※高齢者長期ケア施設とは、介護サービスが受けられる、自宅以外の施設全てを指します。介護保険施設（特別養護老人ホームなど）、有料老人ホームなどをイメージしてください。

II. 高齢者長期ケア施設に対する希望や許容範囲 [最も近いもの1つに ○ をつけてください]

(1) 許容できる1か月の利用料の上限（介護保険サービスに係る費用、居住費、食費を含む）

- | | | | |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 1. 5万円程度 | 2. 10万円程度 | 3. 15万円程度 | 4. 20万円程度 |
| 5. 25万円程度 | 6. 30万円程度 | 7. 30万円以上 | 8. わからない |

(2) 自分で高齢者長期ケア施設を選ぶとしたら、特に重視することはどのようなことですか。あてはまるものすべてに○をつけてください（いくつでも結構です）。

- | | |
|-------------------------|----------------|
| 1. 認知症の症状に対応してもらえる | 7. 職員が親切で感じがよい |
| 2. いつも見守っていてくれる | 8. 部屋が広い |
| 3. 話し相手がいる | 9. 食事がおいしい |
| 4. 自宅から近く、親族や知人が面会に来やすい | 10. よくわからない |
| 5. 最期までいられる | 11. その他 |
| 6. 料金が安い | 12. () |

III. 高齢者長期ケア施設選択における要因の優先度合い

仮に、あなたが以下のような状況で入所先を探している場合を想像してご回答ください。

あなたは80歳で、食事や整容（洗面、整髪、髭剃り、歯磨きなど）、トイレの使用、着替えの介助は必要ありません。排せつのコントロールが完全でなく、時折失禁することがあります。骨折を機に歩行が困難になり、車いすを使用しています。また入浴や外出に介助が必要になりました。ご家族はそれぞれお仕事や体調の都合であなたを十分にケアすることが難しい状況です。

あなたは高齢者長期ケア施設へ入所の検討をしています。あなたは施設Aと施設Bの関係者と面談し、条件について話し合いました。あなたは条件が異なる施設Aと施設Bのうち、どちらに入所するかを決めなければなりません。

回答にあたっての注意点を読んでから、以下の質問1～質問8にお答えください。

回答にあたっての注意点

- ・質問の中で示す以外の条件は、高齢者長期ケア施設Aと高齢者長期ケア施設Bで全て同じであると仮定します。
- ・質問は全部で8問あります。全ての質問にお答えください。
- ・全ての質問について、正しい答え、間違った答えというものはありません。

質問1：あなたはどちらの施設を選びますか？

高齢者長期ケア施設 A		高齢者長期ケア施設 B
一部自分で決められる 同じ施設の入居者やスタッフと交流する	生活スケジュール・食事内容 おもな交流の範囲	他の入所者と全て一緒である 同じ施設の入居者やスタッフと交流する
複数人部屋（2～4人）部屋（1人あたりの面積は6畳程度）	部屋（風呂・トイレは含まない）	個室（6畳程度）
決まっている	ケア担当者	決まっていない
退居しなければならない	健康状態が悪化したら	続けて住むことができる
1年以上	申し込んでから入所まで	1年未満
車で40分程度	現在の住まいからの距離	徒歩で行ける範囲
25万円	月当たりの費用 (介護サービス、食費、居住費含む)	25万円

施設 A がよい

施設 B がよい

どちらかの箱に○をつけてください。

質問2：あなたはどちらの施設を選びますか？

高齢者長期ケア施設 A		高齢者長期ケア施設 B
全て自分で決められる ひとりで過ごす	生活スケジュール・食事内容 おもな交流の範囲	一部自分で決められる 同じ施設の入居者やスタッフと交流する
個室（6畳程度）	部屋（風呂・トイレは含まない）	複数人部屋（2～4人）部屋（1人あたりの面積は6畳程度）
決まっている	ケア担当者	決まっている
退居しなければならない	健康状態が悪化したら	退居しなければならない
1年未満	申し込んでから入所まで	1年以上
車で40分程度	現在の住まいからの距離	車で40分程度
25万円	月当たりの費用 (介護サービス、食費、居住費含む)	25万円

施設 A がよい

施設 B がよい

どちらかの箱に○をつけてください。

(細かい文字の部分は、施設 A と施設 B で条件が同じです。)

質問3：あなたはどちらの施設を選びますか？

高齢者長期ケア施設 A		高齢者長期ケア施設 B
一部自分で決められる	生活スケジュール・食事内容	他の入所者と全て一緒である
同じ施設の入居者やスタッフと交流する	おもな交流の範囲	友人や親族をよんで交流する
複数人部屋（2～4人）部屋（1人あたりの面積は6畳程度）	部屋（風呂・トイレは含まない）	個室（6畳程度）
決まっている	ケア担当者	決まっている
退居しなければならない	健康状態が悪化したら	退居しなければならない
1年以上	申し込んでから入所まで	すぐに入れる
車で40分程度	現在の住まいからの距離	徒歩で行ける範囲
25万円	月当たりの費用 (介護サービス、食費、居住費含む)	10万円

施設 A がよい

施設 B がよい

どちらかの箱に○をつけてください。

質問4：あなたはどちらの施設を選びますか？

高齢者長期ケア施設 A		高齢者長期ケア施設 B
他の入所者と全て一緒である	生活スケジュール・食事内容	一部自分で決められる
ひとりで過ごす	おもな交流の範囲	同じ施設の入居者やスタッフと交流する
個室（6畳程度）	部屋（風呂・トイレは含まない）	複数人部屋（2～4人）部屋（1人あたりの面積は6畳程度）
決まっていない	ケア担当者	決まっている
退居しなければならない	健康状態が悪化したら	退居しなければならない
1年以上	申し込んでから入所まで	1年以上
徒歩で行ける範囲	現在の住まいからの距離	車で40分程度
40万円	月当たりの費用 (介護サービス、食費、居住費含む)	25万円

施設 A がよい

施設 B がよい

どちらかの箱に○をつけてください。

(細かい文字の部分は、施設 A と施設 B で条件が同じです。)

質問5：あなたはどちらの施設を選びますか？

高齢者長期ケア施設 A		高齢者長期ケア施設 B
一部自分で決められる	生活スケジュール・食事内容	一部自分で決められる
同じ施設の入居者やスタッフと交流する	おもな交流の範囲	同じ施設の入居者やスタッフと交流する
複数人部屋（2～4人）部屋（1人あたりの面積は6畳程度）	部屋（風呂・トイレは含まない）	複数人部屋（2～4人）部屋（1人あたりの面積は6畳程度）
決まっている	ケア担当者	決まっている
退居しなければならない	健康状態が悪化したら	続けて住むことができる
1年以上	申し込んでから入所まで	1年以上
車で40分程度	現在の住まいからの距離	徒歩で行ける範囲
25万円	月当たりの費用 (介護サービス、食費、居住費含む)	10万円

施設 A がよい

施設 B がよい

どちらかの箱に○をつけてください。

質問6：あなたはどちらの施設を選びますか？

高齢者長期ケア施設 A		高齢者長期ケア施設 B
全て自分で決められる	生活スケジュール・食事内容	一部自分で決められる
同じ施設の入居者やスタッフと交流する	おもな交流の範囲	同じ施設の入居者やスタッフと交流する
個室（6畳程度）	部屋（風呂・トイレは含まない）	複数人部屋（2～4人）部屋（1人あたりの面積は6畳程度）
決まっていない	ケア担当者	決まっている
退居しなければならない	健康状態が悪化したら	退居しなければならない
すぐに入れる	申し込んでから入所まで	1年以上
車で40分程度	現在の住まいからの距離	車で40分程度
10万円	月当たりの費用 (介護サービス、食費、居住費含む)	25万円

施設 A がよい

施設 B がよい

どちらかの箱に○をつけてください。

(細かい文字の部分は、施設 A と施設 B で条件が同じです。)

質問7：あなたはどちらの施設を選びますか？

高齢者長期ケア施設 A		高齢者長期ケア施設 B
一部自分で決められる	生活スケジュール・食事内容	他の入所者と全て一緒である
同じ施設の入居者やスタッフと交流する	おもな交流の範囲	ひとりで過ごす
複数人部屋（2～4人）部屋（1人あたりの面積は6畳程度）	部屋（風呂・トイレは含まない）	複数人部屋（2～4人）部屋（1人あたりの面積は6畳程度）
決まっている	ケア担当者	決まっていない
退居しなければならない	健康状態が悪化したら	続けて住むことができる
1年以上	申し込んでから入所まで	1年以上
車で 40 分程度	現在の住まいからの距離	車で 20 分程度
25 万円	月当たりの費用 (介護サービス、食費、居住費含む)	25 万円

施設 A がよい

施設 B がよい

どちらかの箱に○をつけてください。

質問8：あなたはどちらの施設を選びますか？

高齢者長期ケア施設 A		高齢者長期ケア施設 B
全て自分で決められる	生活スケジュール・食事内容	一部自分で決められる
同じ施設の入居者やスタッフと交流する	おもな交流の範囲	同じ施設の入居者やスタッフと交流する
複数人部屋（2～4人）部屋（1人あたりの面積は6畳程度）	部屋（風呂・トイレは含まない）	複数人部屋（2～4人）部屋（1人あたりの面積は6畳程度）
決まっていない	ケア担当者	決まっている
退居しなければならない	健康状態が悪化したら	退居しなければならない
すぐに入れる	申し込んでから入所まで	1年以上
車で 20 分程度	現在の住まいからの距離	車で 40 分程度
25 万円	月当たりの費用 (介護サービス、食費、居住費含む)	25 万円

施設 A がよい

施設 B がよい

どちらかの箱に○をつけてください。

(細かい文字の部分は、施設 A と施設 B で条件が同じです。)

高齢者ケア施設における個別ケアの充実にに関する研究 アンケート調査

医療経済研究機構は、医療や介護の政策のあり方を広く検討する研究機関です。この度、当機構におきましては、「高齢者ケア施設における個別ケアの充実にに関する研究」を実施することとなりました。このアンケートでは、一般の方が、高齢者長期ケア施設を利用する場合にどのようなことを重視して選ぶかについて調査することを目的としています。この結果から、今後の高齢社会対策のあり方を検討するための貴重な知見が得られることが期待されます。

このアンケートをお送りするにあたり、住民基本台帳法 第11条、第11条の2に基づき、お住いの自治体に申請をして必要な情報を取得しました。この情報は本調査票の発送作業終了後に破棄しましたので、個人情報は一切私どもの手元に残っておりません。また、私どもから他者に漏えいすることもございません。ご安心ください。アンケートから得た情報については、医療経済研究機構内の調査事務局において厳重に管理いたします。本調査票は無記名式となっており、調査事務局で個人を特定することはできません。

この調査へのご回答は義務ではありません。ご協力いただけない場合でも、不利益は一切生じません。その場合は廃棄して下さって結構です。なにとぞ本調査の趣旨をご理解頂き、ご協力賜りますようお願い申し上げます。ご協力いただける場合は、平成26年2月5日（水）頃までに、同封の返信用封筒にて返送いただけますと幸いに存じます。その際、お名前やご住所は記入不要です。

※調査の性質上、ご自身がお自宅での生活が難しい状態になったと仮定して考えて頂くことが必要になります。ご不快に感じられる方がいらっしゃるかもしれませんが、なにとぞご容赦くださいませ。

本調査に関するお問い合わせは以下までお寄せください。

一財) 医療経済研究・社会保険福祉協会 医療経済研究機構

〒105-0003 東京都港区西新橋1-5-11 東洋海事ビル2階
TEL: 03(3506)8529 FAX: 03(3506)8528

調査専用フリーダイヤル: 0120-568-535

担当: 沢村・中西・清水(平日 10:00~17:00)

あなたの、現在の状況についてご回答ください。

1. 基本属性 [特に指定がない場合は、あてはまるもの1つに ○ をつけてください]	
(1) 年齢	満 _____ 歳
(2) 性別	1. 男性 2. 女性
(3) 同居家族(あてはまるものすべてに○)	1. 配偶者(パートナー) 2. 子供 3. 一人暮らし 4. それ以外
(4) 最終学歴	1. 中学校卒 2. 高校卒 3. 短大・専門学校卒 4. 大卒以上
(5) おおよその世帯収入	1. 200万円未満 2. 200万~350万円未満 3. 350万~450万円未満 4. 450万~550万円未満 5. 550万~800万円未満 6. 800万円以上
(6) 住居の状況	1. 持ち家 2. 賃貸 3. それ以外
(7) 現在のお住まいと出身地の距離	1. 遠い 2. 近い 3. 今も住んでいる
(8) 家族介護のご経験	1. あり(過去) 2. あり(現在) 3. なし
(9) 現在の健康状態(あてはまるものすべてに○)	1. 良好 2. 治療中 3. 介護を受けている
(10) あなたが将来介護サービスの利用者になる可能性はどの程度あると思いますか。	1. 非常に高い 2. 高い 3. どちらとも言えない 4. 低い 5. 非常に低い 6. 現在利用中
(11) 高齢になった際、今のお住まいに住み続けるにあたりご心配な点(あてはまるものすべてに○)	1. 特にない 2. バリアフリーでない 3. 家賃や管理費などの支払い 4. 家や庭などの維持管理 5. 除雪作業 6. 介護サービスが少ない 7. 病院が遠い 8. 生活必需品の入手が難しい

あなたが、高齢者長期ケア施設を探している状況を想像してご回答ください。

※高齢者長期ケア施設とは、介護サービスが受けられる、自宅以外の施設全てを指します。介護保険施設（特別養護老人ホームなど）、有料老人ホームなどをイメージしてください。

II. 高齢者長期ケア施設に対する希望や許容範囲 [最も近いもの1つに ○ をつけてください]

(1) 許容できる1か月の利用料の上限（介護保険サービスに係る費用、居住費、食費を含む）

- | | | | |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 1. 5万円程度 | 2. 10万円程度 | 3. 15万円程度 | 4. 20万円程度 |
| 5. 25万円程度 | 6. 30万円程度 | 7. 30万円以上 | 8. わからない |

(2) 自分で高齢者長期ケア施設を選ぶとしたら、特に重視することはどのようなことですか。あてはまるものすべてに○をつけてください（いくつでも結構です）。

- | | |
|-------------------------|----------------|
| 1. 認知症の症状に対応してもらえる | 7. 職員が親切で感じがよい |
| 2. いつも見守っていてくれる | 8. 部屋が広い |
| 3. 話し相手がいる | 9. 食事がおいしい |
| 4. 自宅から近く、親族や知人が面会に来やすい | 10. よくわからない |
| 5. 最期までいられる | 11. その他 |
| 6. 料金が安い | 12. () |

III. 高齢者長期ケア施設選択における要因の優先度合い

仮に、あなたが以下のような状況で入所先を探している場合を想像してご回答ください。

あなたは80歳で、食事や整容（洗面、整髪、髭剃り、歯磨きなど）、トイレの使用、着替えの介助は必要ありません。排せつのコントロールが完全でなく、時折失禁することがあります。骨折を機に歩行が困難になり、車いすを使用しています。また入浴や外出に介助が必要になりました。ご家族はそれぞれお仕事や体調の都合であなたを十分にケアすることが難しい状況です。

あなたは高齢者長期ケア施設へ入所の検討をしています。あなたは施設Aと施設Bの関係者と面談し、条件について話し合いました。あなたは条件が異なる施設Aと施設Bのうち、どちらに入所するかを決めなければなりません。

回答にあたっての注意点を読んでから、以下の質問1～質問9にお答えください。

回答にあたっての注意点

- ・質問の中で示す以外の条件は、高齢者長期ケア施設Aと高齢者長期ケア施設Bで全て同じであると仮定します。
- ・質問は全部で9問あります。全ての質問にお答えください。
- ・全ての質問について、正しい答え、間違った答えというものはありません。

質問1：あなたはどちらの施設を選びますか？

高齢者長期ケア施設 A		高齢者長期ケア施設 B
一部自分で決められる	生活スケジュール・食事内容	一部自分で決められる
同じ施設の入居者やスタッフと交流する	おもな交流の範囲	ひとりで過ごす
複数人部屋（2～4人）部屋（1人あたりの面積は6畳程度）	部屋（風呂・トイレは含まない）	複数人部屋（2～4人）部屋（1人あたりの面積は6畳程度）
決まっている	ケア担当者	決まっていない
退居しなければならない	健康状態が悪化したら	退居しなければならない
1年以上	申し込んでから入所まで	すぐに入れる
車で40分程度	現在の住まいからの距離	車で40分程度
25万円	月当たりの費用 (介護サービス、食費、居住費含む)	40万円

施設 A がよい

施設 B がよい

どちらかの箱に○をつけてください。

質問2：あなたはどちらの施設を選びますか？

高齢者長期ケア施設 A		高齢者長期ケア施設 B
他の入所者と全て一緒である	生活スケジュール・食事内容	一部自分で決められる
友人や親族をよんで交流する	おもな交流の範囲	同じ施設の入居者やスタッフと交流する
複数人部屋（2～4人）部屋（1人あたりの面積は6畳程度）	部屋（風呂・トイレは含まない）	複数人部屋（2～4人）部屋（1人あたりの面積は6畳程度）
決まっている	ケア担当者	決まっている
続けて住むことができる	健康状態が悪化したら	退居しなければならない
すぐに入れる	申し込んでから入所まで	1年以上
車で40分程度	現在の住まいからの距離	車で40分程度
25万円	月当たりの費用 (介護サービス、食費、居住費含む)	25万円

施設 A がよい

施設 B がよい

どちらかの箱に○をつけてください。

(細かい文字の部分は、施設 A と施設 B で条件が同じです。)

質問3：あなたはどちらの施設を選びますか？

高齢者長期ケア施設A		高齢者長期ケア施設B
一部自分で決められる	生活スケジュール・食事内容	全て自分で決められる
同じ施設の入居者やスタッフと交流する	おもな交流の範囲	ひとりで過ごす
複数人部屋（2～4人）部屋（1人あたりの面積は6畳程度）	部屋（風呂・トイレは含まない）	複数人部屋（2～4人）部屋（1人あたりの面積は6畳程度）
決まっている	ケア担当者	決まっている
退居しなければならない	健康状態が悪化したら	退居しなければならない
1年以上	申し込んでから入所まで	1年未満
車で40分程度	現在の住まいからの距離	徒歩で行ける範囲
25万円	月当たりの費用 (介護サービス、食費、居住費含む)	10万円

施設Aがよい

施設Bがよい

どちらかの箱に○をつけてください。

質問4：あなたはどちらの施設を選びますか？

高齢者長期ケア施設A		高齢者長期ケア施設B
一部自分で決められる	生活スケジュール・食事内容	一部自分で決められる
友人や親族をよんで交流する	おもな交流の範囲	同じ施設の入居者やスタッフと交流する
複数人部屋（2～4人）部屋（1人あたりの面積は6畳程度）	部屋（風呂・トイレは含まない）	複数人部屋（2～4人）部屋（1人あたりの面積は6畳程度）
決まっていない	ケア担当者	決まっている
続けて住むことができる	健康状態が悪化したら	退居しなければならない
1年未満	申し込んでから入所まで	1年以上
車で40分程度	現在の住まいからの距離	車で40分程度
10万円	月当たりの費用 (介護サービス、食費、居住費含む)	25万円

施設Aがよい

施設Bがよい

どちらかの箱に○をつけてください。

（細かい文字の部分は、施設Aと施設Bで条件が同じです。）

質問5：あなたはどちらの施設を選びますか？

高齢者長期ケア施設 A		高齢者長期ケア施設 B
一部自分で決められる	生活スケジュール・食事内容	他の入所者と全て一緒である
同じ施設の入居者やスタッフと交流する	おもな交流の範囲	同じ施設の入居者やスタッフと交流する
複数人部屋（2～4人）部屋（1人あたりの面積は6畳程度）	部屋（風呂・トイレは含まない）	複数人部屋（2～4人）部屋（1人あたりの面積は6畳程度）
決まっている	ケア担当者	決まっていない
退居しなければならない	健康状態が悪化したら	退居しなければならない
1年以上	申し込んでから入所まで	1年未満
車で 40 分程度	現在の住まいからの距離	車で 20 分程度
25 万円	月当たりの費用 (介護サービス、食費、居住費含む)	10 万円

施設 A がよい

施設 B がよい

どちらかの箱に○をつけてください。

質問6：あなたはどちらの施設を選びますか？

高齢者長期ケア施設 A		高齢者長期ケア施設 B
一部自分で決められる	生活スケジュール・食事内容	一部自分で決められる
同じ施設の入居者やスタッフと交流する	おもな交流の範囲	同じ施設の入居者やスタッフと交流する
個室（6畳程度）	部屋（風呂・トイレは含まない）	複数人部屋（2～4人）部屋 （1人あたりの面積は6畳程度）
決まっている	ケア担当者	決まっている
退居しなければならない	健康状態が悪化したら	退居しなければならない
1年以上	申し込んでから入所まで	1年以上
車で 20 分程度	現在の住まいからの距離	車で 40 分程度
40 万円	月当たりの費用 (介護サービス、食費、居住費含む)	25 万円

施設 A がよい

施設 B がよい

どちらかの箱に○をつけてください。

(細かい文字の部分は、施設 A と施設 B で条件が同じです。)

質問7：あなたはどちらの施設を選びますか？

高齢者長期ケア施設 A		高齢者長期ケア施設 B
一部自分で決められる	生活スケジュール・食事内容	全て自分で決められる
同じ施設の入居者やスタッフと交流する	おもな交流の範囲	友人や親族をよんで交流する
複数人部屋（2～4人）部屋（1人あたりの面積は6畳程度）	部屋（風呂・トイレは含まない）	個室（6畳程度）
決まっている	ケア担当者	決まっていない
退居しなければならない	健康状態が悪化したら	続けて住むことができる
1年以上	申し込んでから入所まで	1年以上
車で40分程度	現在の住まいからの距離	車で40分程度
25万円	月当たりの費用 (介護サービス、食費、居住費含む)	40万円

施設 A がよい

施設 B がよい

どちらかの箱に○をつけてください。

質問8：あなたはどちらの施設を選びますか？

高齢者長期ケア施設 A		高齢者長期ケア施設 B
全て自分で決められる	生活スケジュール・食事内容	一部自分で決められる
ひとりで過ごす	おもな交流の範囲	同じ施設の入居者やスタッフと交流する
複数人部屋（2～4人）部屋（1人あたりの面積は6畳程度）	部屋（風呂・トイレは含まない）	複数人部屋（2～4人）部屋（1人あたりの面積は6畳程度）
決まっている	ケア担当者	決まっている
続けて住むことができる	健康状態が悪化したら	退居しなければならない
1年未満	申し込んでから入所まで	1年以上
車で20分程度	現在の住まいからの距離	車で40分程度
40万円	月当たりの費用 (介護サービス、食費、居住費含む)	25万円

施設 A がよい

施設 B がよい

どちらかの箱に○をつけてください。

(細かい文字の部分は、施設 A と施設 B で条件が同じです。)

質問9：あなたはどちらの施設を選びますか？

高齢者長期ケア施設 A		高齢者長期ケア施設 B
一部自分で決められる	生活スケジュール・食事内容	全て自分で決められる
同じ施設の入居者やスタッフと交流する	おもな交流の範囲	同じ施設の入居者やスタッフと交流する
複数人部屋（2～4人）部屋（1人あたりの面積は6畳程度）	部屋（風呂・トイレは含まない）	複数人部屋（2～4人）部屋（1人あたりの面積は6畳程度）
決まっている	ケア担当者	決まっていない
退居しなければならない	健康状態が悪化したら	続けて住むことができる
1年以上	申し込んでから入所まで	すぐに入れる
車で 40 分程度	現在の住まいからの距離	徒歩で行ける範囲
25 万円	月当たりの費用 (介護サービス、食費、居住費含む)	40 万円

施設 A がよい

施設 B がよい

どちらかの箱に○をつけてください。

(細かい文字の部分は、施設 A と施設 B で条件が同じです。)

高齢者ケア施設における個別ケアの充実にに関する研究 アンケート調査

医療経済研究機構は、医療や介護の政策のあり方を広く検討する研究機関です。この度、当機構におきましては、「高齢者ケア施設における個別ケアの充実にに関する研究」を実施することとなりました。このアンケートでは、一般の方が、高齢者長期ケア施設を利用する場合にどのようなことを重視して選ぶかについて調査することを目的としています。この結果から、今後の高齢社会対策のあり方を検討するための貴重な知見が得られることが期待されます。

このアンケートをお送りするにあたり、住民基本台帳法 第11条、第11条の2に基づき、お住いの自治体に申請をして必要な情報を取得しました。この情報は本調査票の発送作業終了後に破棄しましたので、個人情報は一切私どもの手元に残っておりません。また、私どもから他者に漏えいすることもございません。ご安心ください。アンケートから得た情報については、医療経済研究機構内の調査事務局において厳重に管理いたします。本調査票は無記名式となっており、調査事務局で個人を特定することはできません。

この調査へのご回答は義務ではありません。ご協力いただけない場合でも、不利益は一切生じません。その場合は廃棄して下さって結構です。なにとぞ本調査の趣旨をご理解頂き、ご協力賜りますようお願い申し上げます。ご協力いただける場合は、平成26年2月5日（水）頃までに、同封の返信用封筒にて返送いただけますと幸いに存じます。その際、お名前やご住所は記入不要です。

※調査の性質上、ご自身がお自宅での生活が難しい状態になったと仮定して考えて頂くことが必要になります。ご不快に感じられる方がいらっしゃるかもしれませんが、なにとぞご容赦くださいませ。

本調査に関するお問い合わせは以下までお寄せください。

一財) 医療経済研究・社会保険福祉協会 医療経済研究機構

〒105-0003 東京都港区西新橋1-5-11 東洋海事ビル2階
TEL: 03(3506)8529 FAX: 03(3506)8528

調査専用フリーダイヤル: 0120-568-535

担当: 沢村・中西・清水(平日 10:00~17:00)

あなたの、現在の状況についてご回答ください。

1. 基本属性 [特に指定がない場合は、あてはまるもの1つに ○ をつけてください]	
(1) 年齢	満 _____ 歳
(2) 性別	1. 男性 2. 女性
(3) 同居家族(あてはまるものすべてに○)	1. 配偶者(パートナー) 2. 子供 3. 一人暮らし 4. それ以外
(4) 最終学歴	1. 中学校卒 2. 高校卒 3. 短大・専門学校卒 4. 大卒以上
(5) おおよその世帯収入	1. 200万円未満 2. 200万~350万円未満 3. 350万~450万円未満 4. 450万~550万円未満 5. 550万~800万円未満 6. 800万円以上
(6) 住居の状況	1. 持ち家 2. 賃貸 3. それ以外
(7) 現在のお住まいと出身地の距離	1. 遠い 2. 近い 3. 今も住んでいる
(8) 家族介護のご経験	1. あり(過去) 2. あり(現在) 3. なし
(9) 現在の健康状態(あてはまるものすべてに○)	1. 良好 2. 治療中 3. 介護を受けている
(10) あなたが将来介護サービスの利用者になる可能性はどの程度あると思いますか。	1. 非常に高い 2. 高い 3. どちらとも言えない 4. 低い 5. 非常に低い 6. 現在利用中
(11) 高齢になった際、今のお住まいに住み続けるにあたりご心配な点(あてはまるものすべてに○)	1. 特にない 2. バリアフリーでない 3. 家賃や管理費などの支払い 4. 家や庭などの維持管理 5. 除雪作業 6. 介護サービスが少ない 7. 病院が遠い 8. 生活必需品の入手が難しい

あなたが、高齢者長期ケア施設を探している状況を想像してご回答ください。

※高齢者長期ケア施設とは、介護サービスが受けられる、自宅以外の施設全てを指します。介護保険施設（特別養護老人ホームなど）、有料老人ホームなどをイメージしてください。

II. 高齢者長期ケア施設に対する希望や許容範囲 [最も近いもの1つに ○ をつけてください]

(1) 許容できる1か月の利用料の上限（介護保険サービスに係る費用、居住費、食費を含む）

- | | | | |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 1. 5万円程度 | 2. 10万円程度 | 3. 15万円程度 | 4. 20万円程度 |
| 5. 25万円程度 | 6. 30万円程度 | 7. 30万円以上 | 8. わからない |

(2) 自分で高齢者長期ケア施設を選ぶとしたら、特に重視することはどのようなことですか。あてはまるものすべてに○をつけてください（いくつでも結構です）。

- | | |
|-------------------------|----------------|
| 1. 認知症の症状に対応してもらえる | 7. 職員が親切で感じがよい |
| 2. いつも見守っていてくれる | 8. 部屋が広い |
| 3. 話し相手がいる | 9. 食事がおいしい |
| 4. 自宅から近く、親族や知人が面会に来やすい | 10. よくわからない |
| 5. 最期までいられる | 11. その他 |
| 6. 料金が安い | 12. () |

III. 高齢者長期ケア施設選択における要因の優先度合い

仮に、あなたが以下のような状況で入所先を探している場合を想像してご回答ください。

あなたは80歳で、食事や整容（洗面、整髪、髭剃り、歯磨きなど）、トイレの使用、着替えの介助は必要ありません。排せつのコントロールが完全でなく、時折失禁することがあります。骨折を機に歩行が困難になり、車いすを使用しています。また入浴や外出に介助が必要になりました。ご家族はそれぞれお仕事や体調の都合であなたを十分にケアすることが難しい状況です。

あなたは高齢者長期ケア施設へ入所の検討をしています。あなたは施設Aと施設Bの関係者と面談し、条件について話し合いました。あなたは条件が異なる施設Aと施設Bのうち、どちらに入所するかを決めなければなりません。

回答にあたっての注意点を読んでから、以下の質問1～質問9にお答えください。

回答にあたっての注意点

- ・質問の中で示す以外の条件は、高齢者長期ケア施設Aと高齢者長期ケア施設Bで全て同じであると仮定します。
- ・質問は全部で9問あります。全ての質問にお答えください。
- ・全ての質問について、正しい答え、間違った答えというものはありません。

質問1：あなたはどちらの施設を選びますか？

高齢者長期ケア施設 A		高齢者長期ケア施設 B
一部自分で決められる	生活スケジュール・食事内容	全て自分で決められる
同じ施設の入居者やスタッフと交流する	おもな交流の範囲	友人や親族をよんで交流する
複数人部屋（2～4人）部屋（1人あたりの面積は6畳程度）	部屋（風呂・トイレは含まない）	複数人部屋（2～4人）部屋（1人あたりの面積は6畳程度）
決まっている	ケア担当者	決まっていない
退居しなければならない	健康状態が悪化したら	退居しなければならない
1年以上	申し込んでから入所まで	1年以上
車で40分程度	現在の住まいからの距離	車で20分程度
25万円	月当たりの費用 (介護サービス、食費、居住費含む)	10万円

施設 A がよい

施設 B がよい

どちらかの箱に○をつけてください。

質問2：あなたはどちらの施設を選びますか？

高齢者長期ケア施設 A		高齢者長期ケア施設 B
一部自分で決められる	生活スケジュール・食事内容	一部自分で決められる
友人や親族をよんで交流する	おもな交流の範囲	同じ施設の入居者やスタッフと交流する
複数人部屋（2～4人）部屋（1人あたりの面積は6畳程度）	部屋（風呂・トイレは含まない）	複数人部屋（2～4人）部屋（1人あたりの面積は6畳程度）
決まっていない	ケア担当者	決まっている
退居しなければならない	健康状態が悪化したら	退居しなければならない
1年未満	申し込んでから入所まで	1年以上
徒歩で行ける範囲	現在の住まいからの距離	車で40分程度
40万円	月当たりの費用 (介護サービス、食費、居住費含む)	25万円

施設 A がよい

施設 B がよい

どちらかの箱に○をつけてください。

（細かい文字の部分は、施設 A と施設 B で条件が同じです。）

質問3：あなたはどちらの施設を選びますか？

高齢者長期ケア施設 A		高齢者長期ケア施設 B
一部自分で決められる	生活スケジュール・食事内容	全て自分で決められる
同じ施設の入居者やスタッフと交流する	おもな交流の範囲	友人や親族をよんで交流する
複数人部屋（2～4人）部屋（1人あたりの面積は6畳程度）	部屋（風呂・トイレは含まない）	複数人部屋（2～4人）部屋（1人あたりの面積は6畳程度）
決まっている	ケア担当者	決まっていない
退居しなければならない	健康状態が悪化したら	退居しなければならない
1年以上	申し込んでから入所まで	1年以上
車で 40 分程度	現在の住まいからの距離	徒歩で行ける範囲
25 万円	月当たりの費用 (介護サービス、食費、居住費含む)	25 万円

施設 A がよい

施設 B がよい

どちらかの箱に○をつけてください。

質問4：あなたはどちらの施設を選びますか？

高齢者長期ケア施設 A		高齢者長期ケア施設 B
一部自分で決められる	生活スケジュール・食事内容	一部自分で決められる
友人や親族をよんで交流する	おもな交流の範囲	同じ施設の入居者やスタッフと交流する
個室（6畳程度）	部屋（風呂・トイレは含まない）	複数人部屋（2～4人）部屋（1人あたりの面積は6畳程度）
決まっていない	ケア担当者	決まっている
退居しなければならない	健康状態が悪化したら	退居しなければならない
1年未満	申し込んでから入所まで	1年以上
車で 20 分程度	現在の住まいからの距離	車で 40 分程度
25 万円	月当たりの費用 (介護サービス、食費、居住費含む)	25 万円

施設 A がよい

施設 B がよい

どちらかの箱に○をつけてください。

（細かい文字の部分は、施設 A と施設 B で条件が同じです。）

質問5：あなたはどちらの施設を選びますか？

高齢者長期ケア施設 A		高齢者長期ケア施設 B
一部自分で決められる	生活スケジュール・食事内容	一部自分で決められる
同じ施設の入居者やスタッフと交流する	おもな交流の範囲	ひとりで過ごす
複数人部屋（2～4人）部屋（1人あたりの面積は6畳程度）	部屋（風呂・トイレは含まない）	個室（6畳程度）
決まっている	ケア担当者	決まっていない
退居しなければならない	健康状態が悪化したら	続けて住むことができる
1年以上	申し込んでから入所まで	すぐに入れる
車で40分程度	現在の住まいからの距離	車で20分程度
25万円	月当たりの費用 (介護サービス、食費、居住費含む)	10万円

施設 A がよい

施設 B がよい

どちらかの箱に○をつけてください。

質問6：あなたはどちらの施設を選びますか？

高齢者長期ケア施設 A		高齢者長期ケア施設 B
他の入所者と全て一緒である	生活スケジュール・食事内容	一部自分で決められる
同じ施設の入居者やスタッフと交流する	おもな交流の範囲	同じ施設の入居者やスタッフと交流する
複数人部屋(2～4人)部屋(1人あたりの面積は6畳程度)	部屋（風呂・トイレは含まない）	複数人部屋（2～4人）部屋（1人あたりの面積は6畳程度）
決まっていない	ケア担当者	決まっている
退居しなければならない	健康状態が悪化したら	退居しなければならない
1年未満	申し込んでから入所まで	1年以上
車で40分程度	現在の住まいからの距離	車で40分程度
40万円	月当たりの費用 (介護サービス、食費、居住費含む)	25万円

施設 A がよい

施設 B がよい

どちらかの箱に○をつけてください。

(細かい文字の部分は、施設 A と施設 B で条件が同じです。)

質問7：あなたはどちらの施設を選びますか？

高齢者長期ケア施設 A		高齢者長期ケア施設 B
一部自分で決められる	生活スケジュール・食事内容	一部自分で決められる
同じ施設の入居者やスタッフと交流する	おもな交流の範囲	ひとりで過ごす
複数人部屋（2～4人）部屋（1人あたりの面積は6畳程度）	部屋（風呂・トイレは含まない）	複数人部屋（2～4人）部屋（1人あたりの面積は6畳程度）
決まっている	ケア担当者	決まっていない
退居しなければならない	健康状態が悪化したら	退居しなければならない
1年以上	申し込んでから入所まで	すぐに入れる
車で 40 分程度	現在の住まいからの距離	徒歩で行ける範囲
25 万円	月当たりの費用 (介護サービス、食費、居住費含む)	25 万円

施設 A がよい

施設 B がよい

どちらかの箱に○をつけてください。

質問8：あなたはどちらの施設を選びますか？

高齢者長期ケア施設 A		高齢者長期ケア施設 B
他の入所者と全て一緒である	生活スケジュール・食事内容	一部自分で決められる
友人や親族をよんで交流する	おもな交流の範囲	同じ施設の入居者やスタッフと交流する
複数人部屋（2～4人）部屋（1人あたりの面積は6畳程度）	部屋（風呂・トイレは含まない）	複数人部屋（2～4人）部屋（1人あたりの面積は6畳程度）
決まっている	ケア担当者	決まっている
退居しなければならない	健康状態が悪化したら	退居しなければならない
すぐに入れる	申し込んでから入所まで	1年以上
車で 20 分程度	現在の住まいからの距離	車で 40 分程度
40 万円	月当たりの費用 (介護サービス、食費、居住費含む)	25 万円

施設 A がよい

施設 B がよい

どちらかの箱に○をつけてください。

(細かい文字の部分は、施設 A と施設 B で条件が同じです。)

質問9：あなたはどちらの施設を選びますか？

高齢者長期ケア施設 A		高齢者長期ケア施設 B
一部自分で決められる	生活スケジュール・食事内容	他の入所者と全て一緒である
同じ施設の入居者やスタッフと交流する	おもな交流の範囲	ひとりで過ごす
複数人部屋（2～4人）部屋（1人あたりの面積は6畳程度）	部屋（風呂・トイレは含まない）	複数人部屋（2～4人）部屋（1人あたりの面積は6畳程度）
決まっている	ケア担当者	決まっていない
退居しなければならない	健康状態が悪化したら	退居しなければならない
1年以上	申し込んでから入所まで	1年以上
車で40分程度	現在の住まいからの距離	車で40分程度
25万円	月当たりの費用 (介護サービス、食費、居住費含む)	10万円

施設 A がよい

施設 B がよい

どちらかの箱に○をつけてください。

(細かい文字の部分は、施設 A と施設 B で条件が同じです。)

高齢者ケア施設における
個別ケアの充実に関する研究

平成 27 年 3 月

発行：一般財団法人 医療経済研究・社会保険福祉協会
医療経済研究機構

〒105-0003 東京都港区西新橋 1-5-11
11 東洋海事ビル
TEL : 03 (3506) 8529
FAX : 03 (3506) 8528

本報告書の全部又は一部を問わず、無断引用、転載を禁じます。

PJ No. 12402・13402